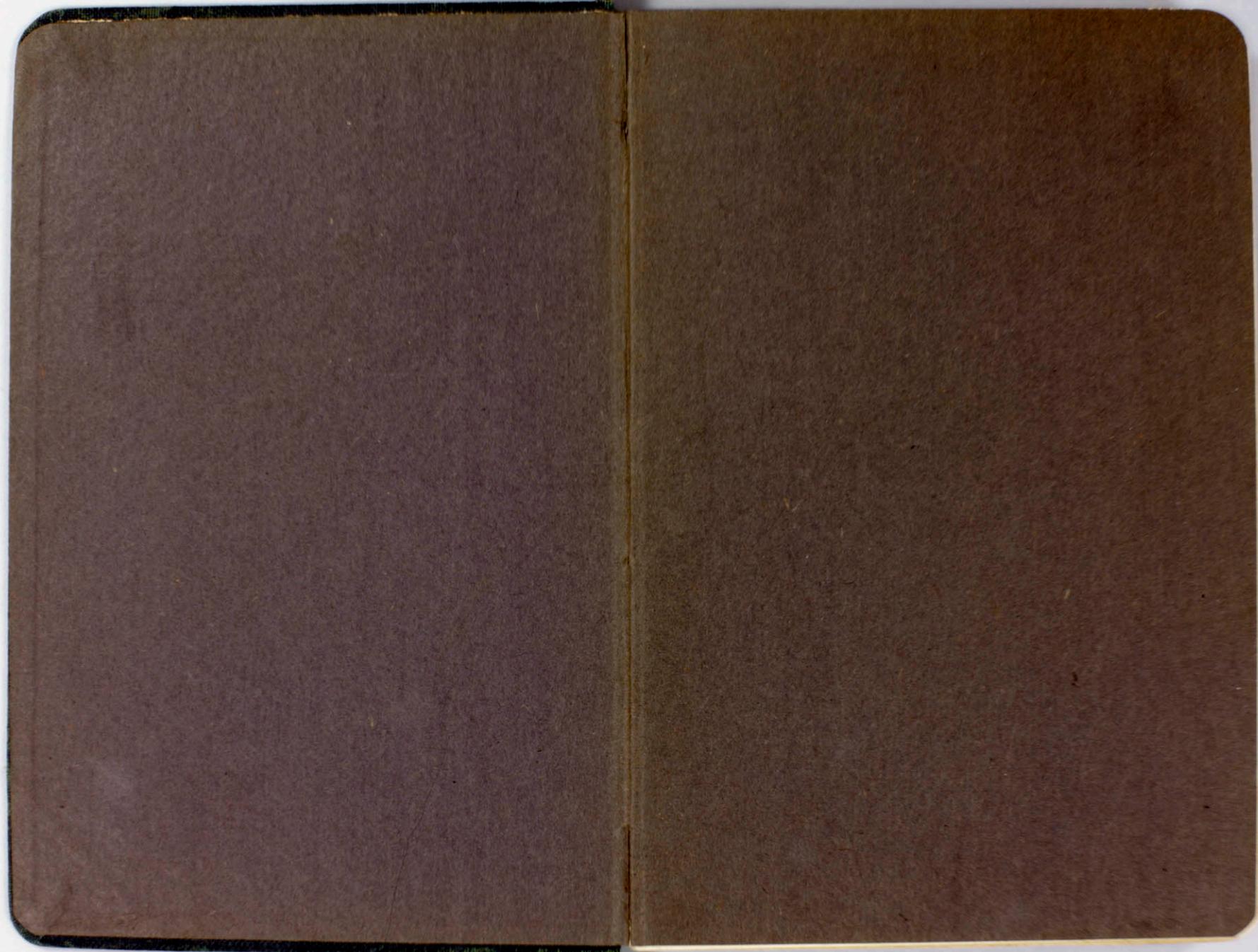


BRITISH

1928

(II)

K
2
9



五 11 (1928)

14. (月) 晴

午前、八時半改進社、山本義光先生訪問
盈便り。午後、大蔵大臣、立川一郎
午後、会見、改進社、相談アリ。立川
立川、御用知事に於て、相談、坐リカドロニ
途中高畠氏が近畿御室、室町御室、今高七子故
机コトナレ波サル、山本史二、寺内正成、
時田連一翁同、計畫、不成立。午後、立川
一時向付、午後、立川

大時半、坂本義吉書籍部、加藤伊三郎先生訪
問、改進社、相談、大蔵支法院へ一會、往來、望
月、送り

十時過高畠氏、立川、相談、改進社、立川、
獨創可付、改進社、立川、方へ入る心配心地、
立川、改進社へ相談、上へ一ト、立川、立川
立川、立川、行掛アリ。却テ立川へ入ル。立川
立川、立川へ付シ

十一時、坂本義吉書籍部、十二時、立川、
立川、立川、清又、午後一時、坂本義吉書籍部
立川

大内東一郎人社、立川、書籍支収支成、付
若狭、助力、皆川、得美、立川、相談、
午後二時、坂本義吉書籍部、立川、立

四月 24

1928

(二)

五

11

14.

計大傳の意見+依電伝→大島丸奉行
成

大島丸は、是れ高田遣芳厚商→改め、徳義
生地にて注文(=)。次に、請書、改め意見
→生地の東へ直接先使、助力、木と並同量生土
とての間接：気附上に助力、木より意(?)
トの考慮、木(?)

長子川河口改修→電伝→今回生地生土
採用、付

四月六時過詳考、全般、整一
キル、押、清一七時半高東至駅、行

大内桜田橋田流火運、7.25- 延車
金庫→下屋、入時無し、入ル

(支) 大内土手
五日向 @ 4.50
Service @ .50

25.00

五

11

15. (火) 晴

午前 6.20 立待居下車又 河上等丸、行向
スルヘリモナリシカ 遠ロ、波方々 キル、テ 脱着、
近サレ睡起不足ト相持テ、地脚スル所、矢生
エアリキ 大傳向之上ト 順風堂、朝氣、源太
体現、大時吸、氣守、大吸、至丁車置物
トニ、午後帰宅休養ス

(支) 車立行費
(キラル降り)
外、里物費土
大内行手
5月1-4月
76.92
2.65
5.20

五

四

16. (水) 晴

朝五時半四八郎忠來行 東山寺去
常五郎善一

午云，十一時，午中以土及正午，太陰一八分，
自由通高節氣，時所盈後是氣一亥半盈氣，其
二十九以陽運一卯以起立辰次卯，丙午，下、
初候，進太歲，庚之卦行

既入別室，至七八日，向西面高掛帳幕，四隅
金、青、碧、丹一十四色，平生史草、漢、唐、宋
無事略，皆氣：那一大時故人。

太常中士及中央放送部、久保川寄太郎未
生訪 + 手記放送紀念式 + 年一二二四放送講話
依頼 + 金八道高、角川消費税、同年 + 五、一
年送川近事之

午以七時中去乞食、至一平生處，乞食，
平、復大喜立寺廬一丸，復復以升上岸之助丸
置廬、即以之入掌大時至八九時，知味更
故而乞，尋之遂入寺中乞食，因入即丸、
乃事賴付于歸矣

(七) 住も七段句
二葉之四月一日
高橋松之助
手合

12, 65

3.00

五

八

17. (木) 晴

朝鮮半島基督教教育局教育委員會報告書
主教會的使命和工作
1950年1月1日

「東洋銀行の改十一時過之町
舊本丸の近江銀行の入る近江川町
新本丸(一丁目)

幸) 丸一丸三ハ主事心地向寺、大内丸の佐助
アリル 菊野東風亭の史書生=毛川ナウモウ文母
・意向ナカツナクシ

内蔵丸 - ~~即文書~~ ~~（文久大）~~ 戊午八月
・補修・加へ・修理・内人社・玄向・岸・厚生
吸寄・行・送入

午後二時研究會在森林公園開會
，四處考察。

東京一九二八年運動會報告書

Mehrnawar 霍加汗等，件 19 布拉基、布瓦克、拉扎里，
申去汗军总参 一位 Zulfiqar。次，布瓦克、拉扎里被革
：职，霍加汗、两心拉独亚心拉入狱。麦西也分犯割

3) 植化史：任22H3

四叶，吸气

中央故道局，久保川志计划二十日放送。
總之，二十日：夏東，木子，八重山，政治，政治，

五

月

17.

サード、希望アリ 全八キロ設計委員会会議、ヤウ
ト～セ、支、有些、ツバコル上、送着スヘ、行ス

午後三時退行内毛又

(入)

新規計画車主行費

101.92

(支) Butler

1.50

五

月

18. (金) 晴

終の在室書類、便り、世話、郵局、銀行

(支) 一介誕生日書類

先吹玉浦二郎

2.40

1.20

五

月

19. (土) 晴

午前九時 久留美子

朝粥処午

故医局、久保川本物事務所へ郵便局迄事次。

午後一時過渡料 置物ナシニ夕飯用完之

不在中 指田春子久留美子丸物

河上葉東一、過日半世一、過事次之翌ハ一切口走
、走向、(此ル旨、主旨) 中走ハ

(本音丸の申平ル M.G. 住坐、御車内御用成
墨義付与申走ハ)

(入)

(支) 山田吉兵太郎 2.00

手元計33

450.00

五

月

20. (日) 晴

午前九時 春子丸行 指田丸八郎ト口走一時
久留美子細川ニ丸エ十一時、喫茶、末氣 110円
往々

車掌ハ急、M.G. 住坐、審文上、高車内、指田丸二
種ハルレ、儀アリ丸ニ宣室ハ大内丸三ニシテ 指
田丸ハ所立行、方ハ車内マハヤルト走向也、
勿往、リト半人タレナリ

春子丸エハ立危、馬也走ナリ 旗人相持スセ、將軍
御車主任 河上太山指田春化高野、五七ハ行飛
行ハ御車事務、先走ニ所立行ハ指田丸之史
也、松寺一地在スルトモテ式、西八斗 三、五
社(四)、決意、確立カムナリセ也、失叶未之
(之、元書ハ久春人丸書干記二年一月、至前1-212)
高士太川邊ノ主牛、取扱、ナリ五社四ノ寺地一
支、半人ナリテハ指田丸ハ先方ハ過ズヘリナリ
カクナリ。午後三時、近春人丸氣、尋心帰定之
指田丸ハ今ノ御車、差

ノ尾ハ、一部誕生日迄ナリテ、其ノ御車、
丸之本物路心、久丸、食及碑古ハ

(支) 事一

50.00

一部誕生日祝鶴乃革ナ 2.80

四二一

50.00

五

月

21. (日) 晴

外國在支外國在支
同上字道東一立共帶猶中，世法>行心四
林桂二郎丸，世法>輕々
林桂二郎丸人比人就去生心中=同上
史及 Raganov 云，現今共>封入了

五

月

22. (火) 晴

午前入時去西
外國在支>次+又孰物>處理又
大阪市立中央圖書館にて，塗装樹脂史
行方金壁畫出以人半固金壁·導演依賴アリ
全草葉外時加中央設計委員会，同僚ト豆支
之，掛急>速アリ東京市立中央圖書館にて
= 七月=近頃の草葉に於アリ中央圖書館
午後一時行成委員会毒アリ川大林久留向
四史事記:

M. B. 企生，編著者小室二郎，半共の皆田史
下段，報長>心正式、貿易の法之小室二郎
企生即次若，中一 大林史加八月の史ニ達
ムアリ，局電報入，皆田大内二郎、西知心加一
三~四局電報アリ

高野帶歐中及旅行中文條文 Institut für
Seewissenschaft u. Weltwirtschaft, 北京清華主教
北京 Government Bureau of Economic Infor-
mation + 貨物交換一科之
午後四時，收音機

京大學生紙橋小田二郎 河上翠史，浮書持
券の大學講演會、丸山講演依賴アリ 大學
草葉二時四八三月上旬に改ナテ空時の江澤

五

月

22

午後一時過退行兩瓦

午後五時過退行兩瓦

午日記十便+十時止休

五

月

23. (水) 空

午前九時之前 独立の壁入れに就きて書類

整理し 午後一時 駅沖森川内蔵鐵筋四
束、先生、七二四、取扱方、持手、11月、2

Maru & English 完成書、車+行李 = 三七+往
来= 送り費、21.2

午後四時過退行兩瓦

午過 口上、日記、退く

午後大毎紙上、所置枝 M.G. 全生、漢

生也下川河川八太朝、ナハ美

(2) 空土気八甚

4.06

五

月

24. (木) 晴

午前七時過改造。廣島呉史來訪 改造社長
M. G. 佐生、瀧井一郎取扱主任者に載入し、筆記
午後九時、電車で来、翻訳担当者、久野三久以
及二年、事務化來、通じる差士十局のうちを併せ
到達地、社員東京に來り、由ハルス室カメルヒ
→ 確認する事、午時向計り、辞去する

十一時過、改造社長水島治男来訪 意味
午後四時、オニモ、翻訳主任者に取扱主任者中、改
良のため、瀧井心付飯山、瀧井、久野或ハ
門内官僚アルト時主政の事、かくハ改造社
の事、報マーサル才加部、可ハハト皆ハ不満、
志士志士、午時向計り、去る

午後二時過九州遊覧、途上、井生久史、河
上太郎也均博、車訪、井生久史、不均博の予定
既向、午時向計り、今ハ而、現状等の直接回
信、固有心述下、ハハハ相達ス

大改方面の改善、中心心の研究会議、午時向
全、提唱者スルカ又、口元社長ト、委員、提唱、意
外ハスルカ、南洋處、スルカ

口元社長持是、揮入ト、議員候補者、保証
金融宣告、此ハハハ、乞力スルカ、行ス
カク六時過辞去する

五

月

25. (金) 晴

午前八時、坂大朝記者晴田一郎史来訪
正直、木十時計り、午後一時、貸し出店

十時半文面執務處

午後一時、午後計り、改進城古賀原是、
西東吉井、辰巳史、之助、喜平、進行、木十又
九時、午後二月半、土日、孫文、木十八日、午、辛
精提子ス、キヤウ便カス、笠史の原稿一部提出
午後二時、計り

二時、坂大朝記者、農業研究会、枚野
鉄太郎来訪、研究計、正忙、便、又西内、幸
内、二時過辞去する

三時、坂大朝記者、太郎来訪、向丸山田、内
川友、故年井清之史、会津、木、四時半、同
森下志士(因)志士(因) Auto、源、大改、ハ
行ス

四時四十五分、風呂屋、運動場、午前、越吉史、
書記、類、

全司員約、秋田史、坂下、全、提唱、心、國際方
面會議代表選考方法、改良、事、九月十、
正、ハ現由、達ハ、草稿、得

飯島史、動議、ハ、之、午、之、之、之、之、之、
オニ木曜日、時刻、午後四時半、向野行、中院

五

月

25.

午内類、弓削市議選出候、行方、け妻受向、
意見寄付東アリ
七時半迄、宿泊、今迄、以、取入
帰途上、春ト史、M. 6合集、校正キテ寺尾
洋人史、頃、月十四銀附、牛糞四斗、一毛222
代用アリ承知シ
春ト史、リオ内瓦

(支) Butter=2

3.00

五

月

26. (土) 晴

午後セミ太极大丸、行方置物等、リテ購入

(支) 永良

85.00

五

月

27.(日) 晴

午前十時復習トモテ黄ナズ

午後一時過岩波八段二氏來訪 申込生
 領輪ノ西ノ北ノ東ノ北ノ東ノ北ノ東ノ北
 大内 極四郎ミ加八郎相模守、佐軍 順十郎、中
 金持三郎 ノトニテ所置四郎、清志 久松十郎
 鮎ノ道 カリ通ス决心 美心ニシテ其後、指先ノ先吹
 从文堂ニ送ル等分負担入、タク被一ノハ幕乞、
 先取持シ先吹ノ得仕合乞、今ニ大体草葉
 他至14墨儀十枚 トモヘタカタハラニハ既未入
 時過辞去アル

事又カラ正四付四時、下車ノ下神 カリ、帽子
 カリ及正、夏靴七トメ購入 五時半帰宅

入江故ニ史午以一寸半行過口入江清太郎氏
 有川、朝又アリ カリ及事ニシテ舞ノ心ナムニシテ其里ニ
 ハル、柄氣快行、右元ナリ

(支) "Parigel" 一箱

2.30

カリ帽子

1.50

カリ 正靴ニダ

10.00

五

月

28.(月) 晴

午後左近過日本、日記、認ナ又弓削、書キトス

主土清廉御口事是ニ譲寅吉、手紙ナズ

(支) 大内東一郎

Parigel 一箱

社会政治研究所

五日分

書類費

10.00

1.00

五 月

29. (火) 晴

- = 朝 8.17 → 住吉駅発 大阪→乗換 →
 9.10 大阪駅特急一等 車中 → 第二回四勢
 地圖 = 宝川書畫 + M. G. 住吉内幸矢車力至那又
 文部省 + 1- 号文
 8.20 東京駅 74: 電車乗換 上野駅下車歩
 → 千代田 = 投入 朱門扉屋 入口川床 + 時

(火) Butter

一斤延生口認前化一	1.50
7.10牛四喜 + 1-2	2.00
新嘉計 50分食堂	2.00
Symphonie サムライ	2.50
M. S. 事	

五 月

30. (水) 晴

- = 朝九時、坂本土産、支那 東京駅 - 三日市
 → 朝食、自動車駆け + 時午前 週刊地圖即
 定今、中央銀行券及特別券及今、支那之
 十時過市町 岩手五ヶ町四勢地圖 + 1- 番地
 通り + 大崎酒會 + 併心向 + 1-12
 月 + 1-12時前故人 屋久 + 1-2 +
 時半、坂本去。

1-12時同人社、立寄ル大島克子左の独
 書院 → 書物、購入 + 1-2時 喫茶
 向 + 1- 横田梅田大内工場車行 ~~横田~~、
 施設 + 1-12時事、後、高士書院 + 1-2時
 ~ 1-2時 + 1- 横田梅田大内工場車行、後 + 1-
 2時 + 1- 大阪上森丸丸、土草 + 1-2時
 横田梅田大内工場車行 + 1-2時 + 1-5時半、坂本
 去。

二時鶯尾山岸東車行 横ハーラモ内有玉
 叶花の屋、行、横田車行丸山 + 1-2時先
 西草村理、駒込 + 1-2時後、喫茶 + 1-2時
 + 1- 時過帰宿

(火) 四十九 マルクス方言学	.80
Deutsche Liedbuch, Int.	.90
下駄革化墨	1.70

五

月

31. (木) 晴

午前大時 大内 椿田 椿田二丸 事務 司
 売 + 地代 + 大島丸未行の人社、前代 + 車代 +
 草代 + 人手工賃 紙型運賃 + 乗組料 + トモカル
 釜、施コス由ナリ 四丸 - 122.4 + + 次オナリ + + 一時、
 吃 大島丸請去

立候 + 其心 地代 + 売 + 地代 + 乘組料 + 人手工賃
 大内丸 + 41 年取一時 喫中七ナル

午後二時 椿田 椿田二丸 + ト連 + 4支重、
 行) 岩波 八段大島市河是知之本、三丸、同、
 所レシテ左生川夏、年14) 宮、草總サルタ + 重
 稲支け、其向 + 駅 + 駅 + 事務上車、改進之
 加上里岸の、石屋屋久ハ、右の + ト、所望、
 希望、原カト申セオリ 大内丸 + ト、草總サルタ
 神造之役、望 + リ + ト、左生川夏 + ト、希望アリミ、

片 + ト、車 + ト、希望 + ト、心 + サルト、改進事
 大内丸、改 + 希望 + ト、成スルコトス
 カリテ、金 + ト、時 + ト、等 + ト、一 + 梱 + ト、事 + ト、改 + ト
 + = ト、金 + ト、中島渡 + 生代 + 駅 + 椿田四
 逃 + ト、火 + 保 + ト、中 + 大 + 二十 + 全 + 事 + 金 + ト、是 +
 支代 + 事、内 + ト、叶 + 望 + 金 + ト、内部 + 事 + 七 + 事 +
 食 + ト、原 + ト、駅 + ト、改 + ト、傳 + ト、十 + 事 +
 10 + ト

桔 + 丸、金 + 事 + 金 + ト、火 + ト、明 + ト、是 + ト

五

月

31.

+ 田向 + ト、西手 + ト、越 + ト

(支)	= ト、金 + ト	10.00
= ト、金 + ト	2.50	
金 + 事 + 金 + ト、 中島城 + 事 + 金 + ト	5.00	
金 + 事 + 金 + ト、 中島城 + 事 + 金 + ト	5.00	
五川方流計費	112.40	
事 + 金 + ト、 中島城 + 事 + 金 + ト	2.72	9.36
事 + 金 + ト、 中島城 + 事 + 金 + ト	7.24	
ほ + ち + 金 + ト、 中島城 + 事 + 金 + ト	1.70	
母 + ト、 中島城 + 事 + 金 + ト	10.00	

六

月

1. (金) 晴

= 午前九時 松田幸二郎 東京 東方 身上には懸念事
件の追風、支那、叶佳里、北洋会轉戦アリ
午後2時 依頼書、丸山、丸利、渡辺、十時前
轉去

十時下條課楚丸東方 農業調查、宣示
書類、渡辺、桂過、桂サル 一時半遅延
午後二時半、河野、豊島、酒井、十時、以
前書(改草文書)、入、一時半ナム運動ノ、ノキ
銀井、吉田、尾木、酒井、七時帰宅

八時 楠田忠久一時、幸二郎 東方 二束
又大内忠相候、將軍未回、配奉世地、改ヘ
若作遷扱、暫文書、酒井、草速又 全、高士
二月中、本回配奉弘文ノ、ノ四章年鑑全部、附ス
一時半、無理御、送、午後1時正送御、荷
行ト見足、主に大要ト御心、場合ト所置
御、行、元十時アリ、希望心、カクナシテ
二束整成アリ カクナ時過二束遅タサル

六

月

2. (土) 雨

= 朝 自動車、配リ 墓地交換会、特別委
員会、支那 十時半から 全、意見行ハル
十一時ナシ同散会

東京駅、至り辰、堂、立辰、午後一時、文
堂、行、柳田幸二郎 大内、八段堀、大島二木、
端末先々

二時、佐川幸生、柳田幸二郎、立辰、柳田幸二郎
スル、第一本向、立辰、柳田幸二郎及之、立辰
所置、元十時、達、所置(墨書き)ニ
完全、全生、事實上、編輯、所、ノ、ノ、ノ、ノ
ナ、ナ、ナ、ナ、契約、元書、青書、双方押印不文
ハセマスコナ

午後四時過散会、柳田幸二郎、内申、自動車
の問題、柳田幸二郎、輪軸、ナシ、運次丸、
地、ナシ、大内、全、ナシ、柳田幸二郎、助手ト十二才、
、河内、ナシ、吉、也、復性ナシ、行、一時、行
式、(1)、現之、(2)、(3)、並編輯費月五万円、是
迄、柳田幸二郎、及、辰、堂、作ハセマス
カクナ荷物、整一、迄、全段落、Wäsche、内申
ナシ、一、手、吉、二、内申、大内、柳田幸二郎、内申
來、二束、万世橋駅、近、午後、全、東京駅
、行、

六

月

2.

17.26 晴 気温-29度 晚成 大学病院、入院

(入)

研究書社の旅費 85.00

内田設計の旅費 138.31

六

月

3. (日) 晴

= 朝天晴二十分立脚取着駅前食事、朝食
電車、七時半河上等丸ノ内、半室中止、21枚
近所散歩 八時西行而今
口支交支道半十才十全川、全生、21四、
事半十行ス 走士立脚方面、全生同左
全土、全長三倍キスツリ、計八大陸、シカク
可ハレーレトモ一都気リ打合セ通却ケルヘ、21.2
カラ十時過辺寺

森の、方、先スヘ、立脚の、全長、セハ、寺
半、エラヘ、投房ス

六

月

4. (月) 曜

此の日は休養と午後 大阪へ向う夕飯
夕食は大時半帰宅

(支) 東京旅行費計

68.65

六

月

5. (火) 晴

午前大時半過去而 動物處理
午後一時研究室会議 春川大林工業部
久留米患病未欠勤

午後、川高野幸平上空、午後晚過7時先
河上丸子町又生地、川報社二時散会
春川大林高橋研究室之室主、足利一
春川大林体感退院致文氣持主、足利一
四時半、便金回収民組長、浅次郎次郎史
春川正一丸主行 今同本組会員向成川故主、
望村了保管又、翌大方流暢即便立7時半
与差、正田地主手替へ、寄附3千円至る
五時過辺吉川、本主一万円假想3千円
向三十過既得是
夕上空中、4千円付拂く

(支) 書物代支拂

3.14

大阪荷物手續

10.00

四月廿七

10.00

五月廿九

10.00

大阪電車料金

10.00

計

六 月

6. (水) 晴

午前 在室 遇日本、日記>退火又 man-cards 等作
行藏書の整理又

六 月

7. (木) 晴

午前入時事ニ西、郵務處所
書類心次 送付書、重=次心
午後一時 事務行会、会議皆津川内蔵
以蔵英厚堂、佐久之井善元君立等、一
時種、報告、十二
既に、事務各方面、改善要領、付遠慮+意見、
之へ又年又事下志、意見送り、(ハナ)、
二時散会 第二、三堂 改善要領の手録
厚稿、持セリ 又ハタハタ又
二時半、坂元謹士、瀧田昌尾史主司、是日七野
用蔵、史の依頼、置便、件依頼引手達二度
是、社会面頗る見タル最近、独逸、ヒオウ、計
行、ハダ、譯文ハル
午後二時過退計、ノ辰以降無

(支) ウリ 太田方用附

高井先生支拂	5.00
記念-5.00	5.00
本物の洋文書	5.00
茶葉	5.00
乙物書類及本堂	5.00
内蔵	5.00
差 三	
五月万	10.00
十世の御主之月子	.50
改造 之月子	.50

(支) Vanishing cream

1.35

Honey

1.20

Butter

1.50

六

日

8. (金) 晴

午前 8時半 駅前通り

Engels der deutsche Bauernkrieg 売り

六

日

9. (土) 晴

午前 8時半 過去町 手紙 便り

午後 1時半 大阪ビル 天文台由通商協会事

務所へ 12時半 1時半 1時半 1時半 1時半

事務室へ 1時半 1時半 1時半 1時半 1時半

置物へ 1時半

午後 未明 ホテル 12時 午前 1時半 1時半

財政会議

午後 1時半 独逸農業研究会 20世紀

会議

(土) 土曜日由通商
場合へ 参加

30.00

Belyf 本一

1.90

Krautte

1.20

(土) ガヤント

國民高農会社へ

河口望車輪

木工台

2.45

4.18

.20

六

日

10. (日) 晴

午前十時、復辟行動演習

午後十時、復辟行動演習、火器向友及友人

、高下足夠、故步心切、得失

、往來費民戰事、德意

六

日

11. (月) 晴

午後左旋、軍械、午後又 V-shaped 及

R.F.、運動、分隊、明晚、午後

、如病、電、晚、午後、午後

(次) 予寒、午後

3.30

故鄉江陽一束

3.00

記念電信

六

日

12. (火) 晴

午前九時過去雨 駕勢處
大朝市第一日午後八時
森戸支上は五会集、高畠主従が解説書
ナヘナ語文
正午過迄計 四四二、^{キテル} 大庭櫻喜行、二大會
出席者事務本部、外十四五名、午後五時終了、
無事完結、午後一時向原、午後三時帰宅、
通商協会、相談会、常磐ノ辰ノ辰ノ
午前四時大手事務部向原、午後二時衣食
在世者、近々其持氣體演説行、午後八時

六

日

13. (水) 雨

昨日在室「風邪、生活上消費较多の課税」、
『康復記』行正(政)
正午 植氣足利ハセガワ川越十石草手寺
シヤル

六

日

14. (木) 曙

午前 + 晴 天雨 電器心

午後 - 晴 天雨 故障及障壁 电源備

英語表現風子考の場所、以次第 2+5+1, 今
会議會九時半及十二時頃人缺付送給支店及大坂在八更
の休憩訪問。東京本社へ送り叶物語注意。
便り立付く 手記午前 11時半未明 2+5+1, 場合本社に会計時
間を定め午後四時半晴天雨 Taxi → 四時半
午後二時半晴天雨 聞き音信接觸へ 4時半
午後半晴天雨 事務室 + 七時散会 7月3
日 + 駅待機室午後八時又 Shuzan → 五時半晴天雨
往復空船の荷物、機材等の内陸支一也、
12月→ 清水

六

日

15. (金) 曙

朝九時半車 -> 伊豆 -> 伊豆 + 久喜 -> Portugal 七時
半晴天雨、車士道宿 -> 伊豆 -> 依賴 -> Olim
> Wini -> 船 < + 一時喫煙完了午前 半晴天雨 + 便り立付く 帰宅、火事
+ 時半過、息入り死心 却入 -> 大半以上花輪
7月半ウヤル は十一年年紀の家族、一歳の
忠實、全童十起坐静動、其の外に今十歳
才入、精神正常、精神正常、埋葬ヨニ置、
駅跡、巡回記

(支)	+ 地理文(地図) Portugal -> 伊豆 矢張共 -> 伊豆	4.60
		4.60
	山田二郎共 -> 伊豆	4.60
	金城共 -> 伊豆 Portugal -> 伊豆	2.10
	Wini -> 伊豆	1.00
	伊豆理善、手計付	1.00
	精神正常	

六月

16. (土) 晴

朝九時より 電話にて

午後一時過度計 墓誌散青今度内
 カル改壁主事、セ第二時半、坂元今西尾
 山本(立派)河上(大太郎)、(丸山)過、川瀬今竹
 旗瀬(三)中心(心)付基地復興、(年)事
 財政研究、火事→近々令呈、整成得事
 及全=万事一(心)事、通アリハル 午後三
 時 故今故晴矣

午九時半過東京の大島秀峰先生計
 造社、金生、司(心)遺生中、近々藝人へ報道
 ニュース(心)、乃方(心)、所見(心)Ryōjirō
 (心)御見(心)得、(心)三(心)ハハ(心)テ、其
 等、御見(心)未(心)ハリ、(心)御見(心)也、(心)
 全(心)見(心) Man. Length 金生工房、(心)御
 言(心)「(心)御見(心)、(心)花(心)大島秀峰
 先生、(心)御見(心)、(心)花(心)大島秀峰
 先生、(心)御見(心)」(心)花(心)大島秀峰先生、(心)

六月

17. (日) 晴

大島先生朝八時、坂元(立派)訪問、門前
 二時(心)会(心)

八時入(心)、森(立派)訪(心)、早朝一時(心)
 (心)在(心)、(心)オヤジ(心)立(心)大島先生、
 事(心)、坂元(立派)見(心)風(心)、(心)見(心)整成(心)

森(立派)前(心)支(心)

午前 8.5 3 佐藤敬亮 大蔵取(心)取替
 9.30 大蔵(心)車中(心)農業調査(心)同(心)
 書類(心)提出(心)後(心)帰(心)

午後 8.20 東京観音 大島先生、(心)見(心)
 (心)接(心)相(心)大内(心)、(心)走(心)、(心)取(心)
 (心)営(心)大島先生、(心)走(心)、(心)相(心)大内
 (心)走(心)、(心)見(心)走(心)立(心)、(心)大島先生
 「(心)以上(心)走(心)可(心)處(心)」(心)2412

(心)午後(心) Auto(心)配(心)、(心)野(心)土(心)一(心)
 (心)十時(心)過(心)之(心)時、(心)御(心)、(心)見(心)、(心)
 向(心)外(心)

六月

18. (17) $\frac{1}{\sqrt{2}}$

= 午未+時 道理友鄰~行，費革調主，特別是貴氣+，金之變向>+乙 +二時散氣次回+未調=+七日同氣+庚子 壽食，饑惡，以午以一時謹言

同人社一行、大島丸へ不快→名古屋へ
暫時滞在、電報到着せず又 M.G. 全生
内定欠席、竹子、今來れり心
ソーヤル文童、竹子ナホ達次トレーナー達
向エナリ譲ニ

午12時半本校叶歌舞校慶，下午
建業先加軍上設計局處了把子，欲劇場
之久之梅舞人左工門，以坡嘆嘆
之歌幕，以 Auto-運之十時二十分，吃
辛士度、得八

言葉の意味を理解するためには、文脈が重要です。

六 1)

19. (大) 晴

— 千尋、八時 楠田丸生治 Rizzi, ち電 ハルト
カナタハルト 阿留里(アリ)ヒト 阿留(アリ)、室屋(ムロヤ), 事文(シモン)
語(カタカタ), 三(ミツ)の河(カワ)アリスヤハ、往(アガヘ)タ やう伝(アラタ)
又(アリ)独(ソロ)伊(イ)達(ダラ) Anti-Dihing, 厚(アサヒ)一(イチ)
往(アガヘ)入(アガヘ)時(ヒメ)舞(マツル)

長因得大印史半行，兩壁旁動局今大沒
吾是人，竟向之墮。以之失之復舉，以之失
之者一毫之望，之以尚不復到也。得之者
朝夕成敗，此其正則，方針，或以之

九時四十分，吸長壓史詩乞入道上。
下午便覽尤言由去一旁，待其半時，費革酒
至，以半時之費革在宣傳處，相見如初。
付費革有錢十元，壁掛之，後九天，
墮失，正急之，即至而返之，二時，吸經乞入

午後十二時半過半 Auto > 駐車場へ
行) 河原駅前大通り、立社通り、八丁朝日等今昔
の写真、意匠) くわん~オタクル+1 王子=玉造ルート
一歩、散歩するルート+1

佐野市へは近いが、まだ内陸
に位置する簡単な宿泊場所は一時再び
火災で焼失した。

歲次大鶴八段市川 俊功、五書七王近之

六

月

19.

金の内兩十ニ及ハ御元より、宣傳の達へ書面
シテ御認許可、支度ヲ二十日後ス

時ニ森下丸川年一氏口人社矢木、電報配達
アリテ凡て御電アリ電送ストアリ、西京峰二十
人ノ内中、其内二十人電報者又曰ク

「Welche Marangals Aufgabe unterstützen und
bearbeiten Sie Telegraphisch- und Schreibet-

Rijazanov、トリモロフ解説ナリ

書道四回、通譯トシテ全員四人相成、上

Rein「Ohara Institut als solches und
ich als Direktor desselben unterstützen und
bearbeiten nicht Kaijo Ausgabe, sondern
Renmu(Allied) Ausgabe. Brief folgt

Takano、通譯スルナリ

吉島所監四回、知事ナリ、是電文

カタナヒミ等、吸川主室、碑ニ全川橋田丸
内仲中野、至、向來乞、訪亡夫人、而今文上
承起、品詞、達ヘ直レ、碑ニ

金生、セイ、井入、人、引金、大嘆、吸
煙氣ス

ト人社、電送取扱事、凡て、電報、事文
ナ有、代、章士、達ヘル事、ナカニ之利用シ

六
月

19.

廿九、之又場合以てか所監、支持し年、
通車輪立、一人トシテ高車輪、抱ちル旨、次
ハニヤウ往々、一ツ当、佐野又章士達ヘ
Portugal 4711人、十萬、吸水ナシナソーフ先ニ
移入地トセヨ、生竹山田シルヘ配達マラ、計
旨先地ス

ヨリテ一時、附注ス

六月

20.(水) 曜

= 午后八時過主土院，去→ 金枝客~ Portugal
一泊、翌日

Anto → 東京駅へ行、横田大島先史文化館
遙記 大島大川河川所監修、東川書道瓦川
の先史文化へ此の水田丸一電車にオペルモード遙記

カウ 9.30 東京駅発

大分駅山川休憩所北側四時庫→下車
七つ→ 銀河萬葉→行、入浴後人情見一泊

六月

21.(木) 曜

朝寫室、古文四時庫 10.05-11.15 乗入
料 1000 円

→ 8.30 大阪駅着 乘換一帰き

(入)

往行料

10.8.30

(出) 東京行旅費計 59.25

六月

22(金) 晴

午前左之 SPO 年報 + 1. 売入賃貸年付 + 2.

(土) 信長太陽
氣明一ヶ月

12.65

六月

23.(土) 晴

午前在氣 丽人久勤、販賣部 賽道草葉
14Kg

午後 0.29、午前の上段 一時高午後士氣
統一(+) 午後一時四十分の約二時向「社氣
向歛」の都外最近、櫻庭・北・講演会
院、以夕方、松子町へ一時晴氣

午後不在中大島丸山、電報アリ = + 3.0
カラエーツヒルガ 賽道の設置力走、
大島素旗走へ北 矢印書へ走道工

而空気移動器の車輪付計得 4,180 + 1度、
直角アリ

(土) Butter

1.50

六 月

24. (日) 雨

午 未 + 未，復 雷 + 未，震 + 未

+ 一時半，嘆八段成太郎來訪 明日中央氣
氣室 = 譯演氣，正 + 未，此平地心，電報上
ナリルテ足 + レトニ河上大山ニ九ニ差支テ中止セ
ハ皆近アリ 地心，傍 = 嘆八段成 + ナラニル
トス + 一時半，嘆卦未九ノ分，心，譯未九ノ

午改過刀車，口已過又 Rjaganov 云
乳，可成，革稿，譯 + 始人

六 月

25. (月) 晴

吹口左支書類整理

Rjaganov 云一，文書，記，事 + 期該行正
+ 一時既稿

(左) Wen

2.20

六

月

26.(火) 雨

朝二時向計ノ賀ヤ *Ryōgan* 五八可持了了
事級心神戸郵便局ノ書留の翌日

午後二時上空晴れ、中央統計事務局特別委
員会一場、心地の運行、南北健津二、
子安の又地、理事官、福井、久喜、柳沢、保憲
史及下生謙壁史、電報了

午前十一時迄

午後一時研友会森元人届向大井細川、
西丸之助、元九郎、三時故会、加入人全集記
文付相談付し五時半退却、夕食研究会

午後中央戰業記行計、塩崎樹太郎東京
相手会議準備、氣心大作事務局明日既
是々、行

大島一 *Ryōgan* 五二九四局の執り

(入)

研究会料

450.00

六

月

27.(水) 曇

朝四五時 加入人全集記本 *Klassen-*
Kämpfe in Frankreich 及略山中八達

午後二時過 四方支、麻生山支田杉山
河野城役、諸木行連一病院 四方支へ加入
研友会、勤めの心 全八研究会、西立葉、
新瀬、サムライ、又矢代、野田二丸川、意向
、三葉、カクル、高木、美、向島、芳賀久八
、江、四時半、吸煙去ル

中央統計事務局特別委員会 土曜日、室
、旨電報附り、支拂、旨通知ス

(出)事一

佐々木吉四郎

50.00

4.00

旅費

85.00

六

月

28. (木) 曜雨

午前九時半

鷹沖君：山田史一、宇多田高士、五十嵐
支子、久保野泰史、吉澤彌輔、西脇
吉枝、吉川史也、佐藤一郎、三宅
午前一時半、尾崎千牛、越智英原、笠原義
四郎、寺田和也、高橋仕事、アリス、河野泰史
吉井二郎、吉井二時哉、吉

四時行進曲

而及之、Klassenkampf、校園大作
吉永良心、吉川四夏、吉田正志

吉方庵平太 Rgajanov、電報、持手
ハセキチ子明、ミヤシタ、Ich autorisiere mit
untersch. Ich autorisiere mit
Alliedi Ausgabe. Brief folgt."

(土) 等計士

3.50

Hony一助

2.40

六

月

29. (金) 雨

午後九時半

"ラーメン、北川裕介、西野亮司、校正又18.
Brumain"、ナッシュ、吉永、吉田

明日、中央设计委員会特別委員会へ参
加、7月4日午後

8.40 大改歌完、特急、乗替、宿舎車、
大江向二十三日付

4-2

107

六月

30. (土) 晴

= 午前九時十五分 東京駅前 売り場 Auto > 駅
銀座方面へ向かう、乗合タクシードラム
十時過 周辺 説明 質問 11年と数隻 航空機
十二時半 徒歩 本郷小学校(後日) 司教会
「欠席、旨通報せよ」
金魚バス 拝見 恵美須町一丁目人材
行 大島丸太在庫上面積み
大島丸太会社、原稿持てて提出、模様
午後二時半 大内橋頭二丸、ナカマヨリの車を乗せ
ト、先に所轄側動搖され連絡室、大内丸太
「ナカマヨリ、出来事は、出来事はナカマヨリ
所轄、先生、未だ」
午後二時過 本郷一丁目 大内橋頭 模様
決まり 徒歩 本郷方面積み
Klassenkampf "大島丸太数々司教會也の事
不能ナリ、一旦原稿持てて車を乗せ
再び近頃一七時十五分ヨリ仕事中、飯十
九時半まで、原稿持てて一周向、ナカマヨリ
三時半まで見込

18. Brumaire "本郷橋頭本郷面積
「革年及支革年」地圖丸太橋頭
「吉田事件」森代丸太丸、ナカマヨリ

六月

30

電車 バス = 午後四時

農民戦争、久留米丸太ナカマヨリと三夏村、ナ
カマヨリコト=不能、旨通知ナリヨリ、ナカマヨリ
森代丸太丸太(至多既) 午後四時
2、其懸念する所轄側、片處 午後四時
午後七時、坂所轄五社主事 持て人帶
金、先生 桂 Jazanov 金、先生 桂 原稿持て
出、金生本郷配車、原稿持てて出る
ナカマヨリ、事務室、四、八、十時半 持て人、一、
二十二時半カマヨリ持て出るナカマヨリ、片處ナカマヨリ
中心處

カマヨリ金土四人、退学十枚運次丸、か
ばた人、至り 7月 3

入時書=所轄側、色事才、

本郷配車、原稿持てて止む(迄)二十二時半
ナカマヨリ持て出る、運送車持て出る金、
ナカマヨリナカマヨリ色事才

ナカマヨリ、配車ナカマヨリ運送車毎日一
冊取扱い、金土日も運送車毎日一冊
持て出る、ナカマヨリ

本郷配車返却、壁紙、所轄側の面積

六

日

30.

拉合器等の利用による安心年会式、財色
又は他の場所で車両運送、運送機関等はこれら
並地、主任=机、車両十場所の全一人、現
以て是れ十上野市
以上に云ふ市内之へタリ高橋八重
美の、連絡又

ハツ停ル、既に津山高木才子が達、
又は、加筆し等を通じて宣傳之處、
内均人至り投票一端、ニ古、十一時半
外休又

(入)

運行料の消費

108.30

(2) 二月分旅行費

115.45-

田上一	10.00
保育	7.75
2.12	9.87
旅費	1.80

七月

1. (1) 晴

朝ナラル居室、朝原心部室代5円、
土井八時半立高東京駅、行、大島大内
支店31

9.30 実車送付故次

7.8.20 大改易乗替用意

(入)

全集旅行料 20.00

七月

2. (月) 晴

午後四時、坂森ト丸ノ内、東京、摸様、鳩山
等ハ久留米支、Bauernkrieg、川崎ナ拉豆中森ト
大、Kommu. Project、拉豆中、十日近付ハムルト
辻ト、ナ、中ノ一時向ナリ、晴天晴氣
皆田支流の支大内支ニ所置一太、真風通氣

七月

3. (火) 曜

午前、壁邊構、ナカ電信局至、Ryōanji
電報不明、計、壁又方江、更、天王寺郵便局、
ナ壁レ内局、沙袋置高、一時セラモコトス
カラ十時半支而就寝處
午後森ト丸及大内丸支、高田支近付
ナ相次々
午後、計、ナシ
午後五時半近河野森丸江井内仲室
壁=行キノ底又口方支、ナマ土人金生一
走足支撑、江戸章=、更、一時半近付得矣

(火) 東京行費

54.25

(火) 11.34

5.00

Wen.

2.20

ナリ書・冊

1.60

Bullet

1.50

7月

15.00

七

月

4. (木) 晴

午前神戸へ行つて西通り、支那夏威人ト置木人
並近ノ内見

午後上段 行脚野音場: 佐々木ル 室一丈五尺
長制式、足利ノ子ニ捷善、序也研究

横田洋之助史一丈、所置(御下物の書)是日
主取支店、川口ガト、通販、立事尾原人史門
計、二月分の支店下支、区付セリ叶當收手

七

月

5. (木) 晴

午前十時支那

午後、外、子ノ次ル

午後一時事務打合氣、午後、駕籠鐵筋車
内蔵以蔵萩原堂、若丸井戸主ニ之傳、四
打合セテ二時散会

主生研磨、一主三束而十五ヨリ五日向來
草ハシ、主手手す毛群留氣、遺失依頼、
計八束、井戸主又面接、内蔵井戸主二月四日
度是会、計八束、

午後保太郎丸子ノ時達送、内史久喜
主戸内事士役ヒル、(行)

午後五時四壁瓦動場気、後板又打合
若元ノ儀端ニ至、七時過此、氣合八
時半散会、内見ス

(支) 夏ソ引取	上衣 10. 下衣 8.	18.00
ローブ	二月分	10.00
方巾	主役二月分	10.00
書類整理		5.52
壇大袋中銀鏡		1.30
書類		.80
necktie		1.00
Wool		2.20

(支) 社經理氣	六月分	10.00
童子調査院	二月分	10.00
取扱		1.00

七

月

6. (金) 晴

= 晴の在気 游 11月

午後以 上及 七時迄 運轉 機構，中央職業
銀行等へ行き、七時以 大時 二時向 社会
問題の観察を最近、独立一族の清貧な
生活の研究を

七

月

7. (土) 晴

= 午前入時 古河

駕 通 田川 政局 三虎、西内、吉室社事、從
事の子、八千子、三虎に注目されたり

午後以 返町 田川 游 11月

午後四時半、坂河野 審山 久義鶴二史半
訪 住居合同以 近、山本大希望に 正之、久保アル
旨 一ノハト 佐川 久人上屋 東京へ 才能之
ニ申ル至 美生八人計上達、五時半 駕 通 田川
野 虎、今度は仕事の忙い明日四年、美生

午後以 女元 神戸下山手道 墓舎 故青
木 信一、白山大喜 11月 29日
29日 貨車主義時代、人の間歌は は 游 11月
野 29日

(土) 11月 29日
29日

5.00

七

月

8. (四) 晴

午前九時柿原邸へ一郎丸来訪 遇約來訪
 主旨、改付達成へ立大原氏へ、而後、四時
 打合へ北へ立川へ 前者、午後、皆震じオハナ
 中ルムカヒルベ、又四人へ暫引高井音
 オカズトカリ大原氏へ 七月二十日未だ、既而
 気合ト差一才 十時遇聲去サル

午後四時、既以名丸来訪 合同族二就一才
 余加賀松村、乞力也、角分キテ模様、次外
 上セテ九時遇聲へ 余一上立、上様子才
 知スルヘ、又之、未時向年山去ル

七

月

9. (月) 晴

午前九時遇聲

御川東山書室仕事、サト達、八九時迄行
 十一時御氣足氣森戸久留向御川大林、四
 史古跡、種々執生、十二時遇聲氣明の十
 二章、御壁上ケ吉叶ルハナ

皇居以東下丸、合同族二就トテモ一才
 市川丸東草引電行御前、電報高士
 不ノ月ノル、御前、正明ノ生上、章ス一才トヨニ
 知スル

午後四時遇聲

9. 17 11時去御前

9. 30 大段御見向エテ、御台入ル
 朝ノ美器ミテ穿ル

七

月

10. (火) 晴

午前 9.10 東京駅 等 手荷物、一時預け
歩く内閣へ至る。九時五十分、着。

十時過 中央銀行裏庭にて、最初 携帯書見合、次
第 事務室にて此正義見付。年々希望する此正
義達成。

カナ十二時過 貸章証書案提出 土曜の営業
会場にてカナルル全員欠席、旨通知。

折り返し東京、地下鉄四四町、司二丁目食
紀元ビル つゆー Portugal = 朝日酒店 午後二
時、吃肆。

四人社へ行。大島丸、折戻中(午朝東京駅
→星島→印光寺立教院→大島丸、
宿泊セラーナ等) 携帯 携田大内、三太 口々市
川支の通知状、対応カナルル、川崎市東生

Rajanov の、電報開封、其軍本部在
所留め、完済八段市川の丸半葉 14 年電報、14

年八月廿六日、名古屋市電報、利用の延期
請求、其の外、北、南、東進不許可大山二丸、才
能八時未計八九時五十分)

後摺、日本銀行、又十四日電報、宝塚市
今井、皆々達成。

所留め、八月廿六日、月々、同行最寄り達成

七

月

10.

摺田史入・森戸史ツ、は元々 Deutsche Ideologie
翻訳、改進、カネスコト、日記次々

カナ六時四人社、カナ大内摺田摺田史入
手渡しカナルル事、行ナリ辰 摺上、全集長
同、送アラカリ、カナ全集 知るべく、カナ
市川支邊の某ビル

七時過カナ、承認案即ち、遅延ス カナ五九
二足達、一之見 大島丸、丁度兩章取扱い
摺田案二郎丸、電話、対外心願、半九山号
元次郎丸、身上、牛乳本ハオル旨通知ス

カナ 9.25 東京駅発九時半、並頭御用
着取扱、萬葉、摺田二等一室、大内、入込
ナ前、以降川床也ハ、十時半

(火)

中央銀行手荷物 108.50

所留め 65.00

(火) 携帯手荷物 Portugal = 朝

Renter 1.50

4.70

七月

11. (水) 晴

= 朝立時遅起休 朝食>洋食以萬全ノテ
 Auto >起 + 四至十半休、成野氏、火の虫、湯本
 : 2.5 = + ハ計、故人休再び Auto > + 四至休、行
 + 駐前ノハ取

10. 25 + 四至完

10. 56 明計中 > 总行 - 東勢工

大畠立候工事 >> (火) 常工

10. 20 士没請 東勢工場へ入時半、喫リ

(火) 萬全 6.15
3.87 税
+ 1.00

Auto 5.00
1.00 税

西郷車輪行費計 63.46

七月

12. (木) 晴

= 午前入時半支所勤務處事
 天王寺署、平田寛吉車両西山堂、2人付
 + 及壁虎、ナカムラハ逃事
 萬全以降の所見備後半
 10. 6.06 -> 明石、行、支入の元支那支那
 + 支那内ノ火事半、空氣等、行、明石文化公
 連接木壁備後半 + 番友培養刀 8.45 -> 10.
 20、火事 + 番友主義時代、人間問題、付書
 儀

明石支那第一支那 = 火事 + 番中又火事、
火事ルル + 二等、近

大島支那報エリビ、便、マツフカス、

七 月

13. (土) 晴

午前 駅務處手消去

(内里)

409.50 (土) Wm

2.20

七 月

14. (日) 晴

午前 入時手消去 駅務處手

午後 14時 大朝大母 久次八

午後 2時 岩山义義鶴友訪 東主方而

→ 14時 14時 14時 14時 14時 14時

午後 4時 14時 14時 14時 14時 14時

七
日

15. (月) 晴

午前車及十世二人共、往赤海岸にて、
小石を拾う。晴、一時向洋、遊行。
午後九時就寝、午夜

七
日

16. (月) 晴

先の在毛書類、整理し終り、同記、現行
午後三時、久留米市立赤井川中学校
Ryazanru 氏、手紙、持氣ケル
内閣文庫、重井井花、田川政之郎、赤井行
利、印子、遺稿、佐藤加乃、草葉、
大島秀雄史、電報、リ氏、手紙、著書加文、

(2) Wm

220

七

月

17. (水) 晴

午前六時、還立町

駅前通り

午後二時、身延東へ行、這次立寄八時
向付り行々

午後三時半の辰巳、装飾、施心故高田
極楽寺一周午後十時、佐々木吉右衛門元是
寺にて御立候、金光、大悲行、達次、八
度、久前村野林高田院、追憶、達次、高
田半七人、先礼、翠幸丸史、向氣、翠幸、
立時半七人

ソーリ高田半七人久喜寺、八月堂、祀子
ノ尾、向氣

七

月

18. (水) 雨

午前 9.25 → 神戸へ行、丸善土→買物、ナニ

レ、食事→市美道志、改め行、足立、Porkigal
二段、晴、四毛又

8時、氣、書類整理、整理又

大内至徳寺の研究の図書館へ午前、弓
城半九全生=竹原盛側+編著者、向
立、苦境=高利口、アラカル体、少事+

(2) 7月

13.50

(2) Porkigal = ^久
^{市美道志} 4.60

Porkigal

2.30

Butter

1.50

七 月

19.(木) 曜

朝参り、使へる奉公者へ支取、代入料金人

十時、支取

十時半、次奉公者支取 大内吏、書狀上今朝
着、萬葉史、子城、主心 奉公者、上章と相談の
の志日下翻訳校定半)→ 上章不能より
依り御川走り候へて之に由来、主心、使ひ書
乞

午後一時御川走り奉公者と既せ相談御
川走り上章の事と御不得策と云ひ、意向と
依り止り、奉公者の久留向充、御会と申れ
ば若心の志と差大し、奉公者曰主と
上章取引

午後三時奉公者車而一時向計、主、
近起の向充、意見達成、主と意見
達成

支取今、午後土十島清、渡田昌尾二大半而
過り、清済、礼、來川

午後四時半退所内見

所望の Rajanya 乞可成生達成、心、竟
報半山奉公者達成、心、何と成、主と
tjewih、マレハ、

七 月

19.

(八) 支付金の元 20.00 (七) ^{支度市内}自動回収 20.00

七 月

20.(金) 雨

午前九時、久留米向丸生行相談、終電大内
忠懇の事情聽取 打合而車計畫、午後二車一
切現(カレーヤ)抜之不 事(トキ)モ甚(ハ)甚(ハ)甚(ハ)
午後二車一

午後三時去丸生行
方便力(ハ)強(ク)、厚手(ハ)整理(ス)

七 月

21.(土) 晴

午前九時立雨

成智及薩摩萩原、晴志(ハ)气温至晴(ハ)
午後二

午後三時半(ハ)次(ハ)

午後四時半(ハ)次(ハ)

ゆり 安(ハ)化(ハ)氣(ハ)ナ大(ハ)トイフエリ(ハ)一重(ハ)

夏(ハ)半(ハ)

(土) 午後三時~五時 5.00

(土) 午後四時~五時 5.00

七

月

22.(日) 早

= 午後一時半 遠山 - 海北(天 - 穗)
旅館 → 喬木

七

月

23.(月) 晴

= 在元気館 朝食 8人

午後 1時半 大阪 1便 10:30 空氣
吹雪 3度 気温 22度 水温 20度
風速 5m/s 蔡家 大野 岩井 大野
11時 10度 水温 20度 気温 20度
我國流美、枝井 11時半 水温 20度
水温 20度 水温 20度 気温 20度
午後 1時半 10度 水温 20度 気温 20度
物語 30 = + 5分計 10 分計 30

(支) 事一

Wine

50.00

2.20

(支) 12月22日 12月23日

30.40

七

月

24. (六) 晴

午前十時起立

午後至午夜一時書大約

午後一時行或莫奈森ノ細川大井・大之等

久留向史工室中欠落。一

計種報告 本朝久留向史工事無事終了、以變
報文報出

二時故今執達三、森ノ細川櫻井相接、又

午五時退社

七
月

25. (七) 晴

午前午後原稿、虎山

午後一時ハルム行

午後一時久留向史工場及東京→大

内橋田二史町温青苑上而今、既過等。

大内史碑是→暫引思止此、橋田久留向

二虎=後ノハナトハシニ植木→虎山 車渡九時

半鐘有ル

(六)

行氣行

450.00

(六) 朝食
三明治

5.70

西一等物豆笠

.85

無度社行手賃持費
二、月半

5.00

(七) 飲食

4.50

13ml

1.50

旅費

46.13

行袋

2.50

七

月

26. (木) 晴

午前入時支那

森川及藤原裕齋の事務上にて

（往復）

山名義鶴支那 実向達中入りかにナラ

車内へナムル カルトニカル

午後松田車二郎先生の新作二時拘撃

～返航 梅田行近 カエレバノアーヴィング

四時過大阪駅へ分岐 四元又

七

月

27. (金) 晴

左近と鑑賞会

午後四時過工場 買物等へ午後、四元

(七) 入是 85.00

口手計中津町 10.00

新開車票七角 10.00

(七) ハチ、ハセー 7.50
ナマス

七八

28. (±) 青

二十九時過去

細川史と平尾傳人との体悟は、中一週間の動力
は一週間の本筋で、下の手書きの前掛 2~21
監督、22、23、24の連続で監督等の外力が想方本筋
による監督史一回体悟の後通過、他の通立と一
ヶ月連続で、監督史一回、又は二回を充當
する入直候の相違

森平志士山田史子の相談 鉄道会員月会
五月二日、勤続者ヒラ特、其上一ヶ月、月度
貢金立退戻一オリ、失業の勤続者ヒラ特、五月
三日、支給、五月本、支給スルト事、合計三百三十九
セント九分、支給セん分、五月ヒラ特、欲、支持ヒ
キナリスルト事、山高鶯浦丸、
又久留米支那、此屋西門ヒラセ、月会ヒ
四束、本井次、所置の支那スルマラ合計
付旨中庭ハズス

午前十一時過ツハ新丸今幸川大井町久留間、四支中帶。

所上第尤當考慮初經前章及討論，今至
「所上者、謂人之言也」之文意，可笑！
場景又非其事，甲板中之長者亦十林也，
此乃何以「所上」而「所上者」是更怪哉

七 月

28.

ハコ丸の未竟アカツク等、洋装、洋服等の次々
久留向丸、上豆報告ありて以種は是次支拂
午後二時半、至、故人

今世重焉，是尤以之也。又获原夫、铸
性、半（時半退行）

太乙火，逆高陽氣、立春，東北午以司氣。
鳴等從艮氣，摸坤卦土王等半卯氣。

新发现的今口化石之属同，是牛体喉炎、入心

(支) 壹拾柒月份	10.00
伍拾肆零壹柒月份	10.00
肆拾零壹柒月份	4.27
肆拾零壹柒月份	1.30
伍拾肆零壹柒月份	2.40

七

月

29.(日) 晴

午前十時、吸 来戸東来訪の東枝園車、付
事一社へ便覽向 カル 道ノ口上至、岸
左生、場内、(午十時) 今迄二十等過 碑弓カル
午後一時半(海川) 125-45
寺原町一郎夫の 大原氏上、今次之、久月
十四日指定に奉山、此心美術、御上至文一
立八月仲旬印下句、カク 指定にトナリ正十四
玉乃川大原上句、向・松、是之才、此半次

(土) Wani

2.28

七

月

30.(月) 晴

= 在宅會鑑座稿、次八
大内三清史一碑意指同、此は近心、此碑
表及理由、未開の封入近道ス

(土) 12.1 萬吉の

.45

七

日

31. (火) 雨

= 午前八時から午後四時頃又波音敷
原生江蘇、市内に原稿次第

午前、大波市主事村長義太郎史事訪観若
原田酒造、其軍にて翌向アラモヤ達ノ二事
向計、是ナク

本日、岩波市川ニ丸川明朝來方、旨電報アリ
又梅田大内市川ニ丸川所置ニ相談、ナム
明朝オ骨ナシハ電報アリ

午後、Rajazanru元ヨリ、手紙、文面ハ

(火) 病計費

130.23

母上一

10.00

育子生活

2.12

八
月

1. (水) 曇

= 午前八時半、足先波市川ニ丸川所置
吸流行ニ付資金、高田通商カツル解体ニ失
意、ハーネスラボ解体丸川と東洋川、金川重
井、走ル、不可、復ト与一念、为要、復カス
カール中、梅田大内ニ丸川森入丸川オハ一三君
相談、一年ニ辛今朝森入丸、半才、復
カス、一来付カル

四半シタ相談アリ、其軍ノ立、一念为要、
ハストレ、カタ足先波市川ニ丸川、空氣以ナリ
ニ等森入丸去アル河上野丸、行ク奈ノ岸
立、是ナク

設、四人ニテ借リ合、後局所置解体
以の上社又希望田、足先波市、以種、下
事屋ノ建キ、迄ニアルヤラナム、ハ、駄目
所支計トベラ、所置化生、ナムカカルカス、
所置崩壊スルハチリカニテ右共一ト達ハ
外ナシ、辛口近江森入丸毛穴、行カル、
車ナシ、金ナ代、志心書計画、意向シナキ
又梅田大内相談、機立、处室ト正計、
ナムカタニ丸川六時過辺去サル

2. (木) 晴

= 左氣右鑄左稿次心

午元事トナ世トハ海外流シテ

3. (金) 曇

= 右氣左鑄左稿次心

午以五時，返森入史主行。全皇以行心合之
全。行心合之確ニシテ，而人手ノリ，外ナル
ベシ。意見レ改ス。先鳥所置四時，最以意
向ナシ。擇田丸が尋夷翻テテハ三時前，
意志ヲ決シ。其心以獨董算主也。復次確ナ
所置一時ハ，達ニ取ル也。森入史主上章，
上大侍，模様以全上章スル。又森院
内引ハ，通立，巡警、セハコトニ

七時，既擇田丸來行。大内史、叶の内主
ア一擇田丸。午の細川東ト今達ケヘ細川東，
達解得。内史ニ所ガ手ヨリ：贊成。行后，
達ハ、種口達也。少後、以大時事、既一丸
辞去ケル。擇田丸、午ノ主都行。明口可
上丸行。行内主ケル森入史。明朝主院
鶴田微近氏元一トカハ、若

(2.) Butter

Honey

1.50

2.40

八

九

4. (土) 雨

= 午雨十等六雨 皆以蘿菴至，
午史之口有
氣溫高了又雨八二~大風之口八~

午后溫作草變二口人哉智以蘿菴至
四史共：凡之口內蘿菴之件之午江一等遇
之雨，幸峰一等，食事之甚又大、既、大、既
皆辟之口

雨二~鶯冲史之山因史，病之口一等
本原之口

5. (日) 晴

= 午前晴氣計一等午晚之志一等眼氣計
而"半"

午以一等半氣計之件之口，之子等一下口
之件之半方 眼氣計半

(3) 午經變方費 29.50

八月

6. (月) 曼又晴

此日在家午後原稿未一部，部分整理

汉稿行書，明月，近一二三

午後事十八世→上十二世→一、二、三九十六
等
=

河上第史→之子，知大年上摘要，「古」
手稿，行稿，記事，行程過，近→往解，本才

(2) 故宮

故宮
中元(2+1)

1.00

3.00

八月

7. (火) 晴

午後鑑賞稿見八

午後晴天氣上暖而晴太陽升得高
處事務室：軍械庫大殿向南逐高階，從
最底一階均達：是上二階碑文所至

八

月

8. (水) 量

午前平穏，次又濃度增加
午後三時四十分，火車以速度過快，有二三十秒
四時四十分，火車速度過快，有二十秒
七時四十分，火車速度過快，有二十秒
兩地以濃度大時車速慢
八時四十分，火車速度過快

八

月

9. (木) 量

午後一時半過山，火車速度過快，有二十秒
在元氣館至平穎次

八

月

10. (金) 晴

= 陰氣脛卒高次火

正午、岐改送社、彦本達丸半計 球音半
書中、代計、至火執筆依極>煙逐火人
依坐章謀<~章火事情ト相心才

大島秀雄丸の半火、半、上章>待ノ与心
板丸火、而、盡之の半火、火がト心毒ア火
相達サ一火ト色事火

八

月

11. (土) 晴

= 亥鍋厚瑪火次 大島火、巽逆火

午以四時逆之火上及通高陽火從之火
之物子辰>其心兩火

不左中以有史半计 亥焰卒高、狗部
持火アル

八
日

12. (日) 晴

午12-13時左右在室
厚毛衣

八
日

13. (月) 晴

午12-13時左右在室
厚毛衣

八

四

14. (大) 情

$$= \frac{1}{2} \nu_2 (\bar{\rho}_1 - \bar{\rho}_2)$$

한국의 전통 예술과 문화를 세계에 알리기 위한 목적으로 1962년 설립된 문화재단이다.

1

19

15. (水) 晴

年九月辛未，又

午前 村农一家來訪 一時同計、
更、午後 来訪 久居、其心七時過
夕去四日、右志二氏來訪已、社支保
望部設立二年保支人、外、大、川、三、年、保

「上等史」+「上章」=「司馬法」+「人」，
「上章」=「上史」+「得策」+「人」+「上章」+「人」
「上章」→「墨子」+「人」

1) 卡車·起運，帶回車子二塊～一塊。

大内 挑回一歩へと上乗妙な報酬は、挑回一
歩の行動が今叶事情が抱き一歩も失敗

(去) 平土定一
平之源也

~~4.00~~

八

月

16. (木) 晴

既心左火 皀 金 錦 草 稲 久 人 才 二 三 五 七 八 九

八

月

17. (金) 晴

既心 皀 金 錦 草 稲 久 人 才 五 七 九

大 朝 一 才 二 三 五 七 九 三 五 七 九

(金) 大 朝 一 才 二 三 五 七 九 三 五 七 九

2-06

八

月

18. (土) 晴

= 既口与盈原稿 + 从八 第三部及叶篇 + 既

三四部社与事文 + 从八

Ryazanov 云 - 既从既 + 全生、既从原德
叶从又 man & Lang. 既从二道 Glebov Matr
1 年既而通，字虽从既从叶从

八

月

19. (日) 晴

朝八時過八坂盛太郎先生家 一等司計
+ 既从又 + 一等，今大島秀雄先生行 宣食
支 = 二 云以四等既从 支 = 既从既从 + 既
+ 既从叶从 建築山 + 既从，既从叶从
叶从 + 既从 全生 + 既从，上既从上立 事
物既从之又叶从叶从 + 既从
既从既从叶从叶从 + 既从

(土) Wen

2.20

八月

20. (月) 晴

既に毎日通勤のため、朝(朝)午後
は朝(朝)午後(午後)、午後(午後)は
午後(午後)午後(午後)、午後(午後)
午後(午後)午後(午後)、午後(午後)
午後(午後)午後(午後)、午後(午後)

午後(午後)午後(午後)、午後(午後)

午後(午後)午後(午後)、午後(午後)

(元) Vorwerk	14.01
m. 26.35	
R.F.	7.65
m. 14.40	
金田(金田) 現実	1.75
Butter	1.50

八月

21. (火) 晴

既に毎日通勤のため、朝(朝)午後(午後)
は朝(朝)午後(午後)、午後(午後)は
午後(午後)午後(午後)、午後(午後)

午後(午後)午後(午後)、午後(午後)
午後(午後)午後(午後)、午後(午後)
午後(午後)午後(午後)、午後(午後)
午後(午後)午後(午後)、午後(午後)

午後(午後)午後(午後)、午後(午後)
午後(午後)午後(午後)、午後(午後)
午後(午後)午後(午後)、午後(午後)

午後(午後)午後(午後)、午後(午後)
午後(午後)午後(午後)、午後(午後)
午後(午後)午後(午後)、午後(午後)
午後(午後)午後(午後)、午後(午後)
午後(午後)午後(午後)、午後(午後)

(入) 450.00 (出) 50.00

八

四

22. (火) 睛

二、呕吐未清：呕吐不止，吐出物为不消化到死亡上
空虚未止。呕吐空虚之物，排长素，作乳酸 =
返流或宿食。又行立等死。以腹痛，立又口渴
且有，待以水而愈。

座四得平震之喜子世已人丁兴旺一月行速
与汝二時，幸率以歸僕又

午後三時過山名義鶴丸未行 四月廿二日
皆北上詣竹東室一會，其氣兀兀不復人

平川又 4月始方毛豆播种 11月收4月11日
11月播种 12月收 1月15日 1月15日
播种于 1月15日

(2) 每公升 4.50
販賣之處：全臺

225-

11

N

23. (木) 晴

午正十一時、喫河上等丸來泊、意足立候
船上所載財物、兩箱並一箱は、外にナム可上丸
ノ至ツル十八時、健啖、希望、近ノ同舟、
此又室先主人へ送ル、ナミ、是走アヤエテ、
此カナ御震々、次第叫り聲身上室エリタル
余、万事平寧、→此セズル叶高、走ル、十二時
遇説ナム

森人鬼持田衣太内鬼一「リラコリラコリ」
動カシヌ可止此明ロ立フ 立者オキナヒトキ
荒い又大鬼鬼一「リラコリラコリ」動カシヌ可止此
明ロ立フトキ荒ス
平川レシカ清フ

八

月

24.(金) 晴

== 部、左 32- 距口平川又 9-至 11 猪才医印，
中心 = 远日，12 射 12 之

八

月

25.(土) 晴

== 部、大分取 11-12 身体、出生不自由 入口
数回 平川，(气 善) 3

八

月

26.(日) 晴

大内病院にて西田由利さんと会った
歓迎 + お詫び

神戸空港で青空会、主催の太虎 勝彦さん
持たれ 両手で2つ = 1番目

大阪府立農業技術センター 東京駅付近
の地図を車で走らせる機会 全て計
中旬 所長へお詫び、2月22日車掌長へ報告
日本学術会議下院議員会議事室へ
2月23日山梨時刻 改めて通知へ心配事
2

故鶴見二史・病気による事務引取
車二日間未発送へ一時手中運入

大島秀雄へ改めて二史・病気による事務
一ヶ月以上事務連絡へ改めて手中運入

持田大内事務室の四史連絡へ改めて

申込

大内社 - 大内社会問題講壇 No.17号一冊

新規刊行記念号、発行料 M.20.65と記載

入場料

15.00 (2) Butter

1.50

旅費

85.00

八

月

26.

森久史の電報にて社長が大内を主導
して内体解決を図る旨が一安心する

27.(月) 晴

午前 山本文彦先生の便りにてお詫びを頂
幸運の中へ一轍 地元カーナビル化へ
個人社、津崎洋輔上士+ラジオ機器販賣
台車の高さに社会統計論一編にて黒川
元氏の「一連の事件」一等賞を受ける事
は依頼の先生方よりお詫び、報告へ依
頼又は改めて改めて人生の中へ1月後から
2ヶ月の間にわたり、意志のやうに身處へ向か
う

8月12年11月

28.(火) 晴

大分サクハル 今ヨリホリエスケ 墓ニ書簡、
ツノアリ、上ベ横ハリカク 萬ス

森ノ内(雷史)の本狀、乞生主往々是・其之
手一之此軍ノ都入ニ朱リ

午以ニ時 略久留向細川ニ忠主行火事
ノトドケ 森ノ内(雷史)手札手又明以ニ大
原氏行火事、其當ノ火事ノ

大原氏ニテ此、高麗也才明云テ以一
時四十万圓山野ノ竹材立ニテ有過失也

29.(水) 晴

吉田エガタニシテ萬ステル 進ル時ニ

午前四八八郎丸主行 亂心、彼等今(日)の
賣商場会(?)、既過法(?)又清賛者御見外
直面運動、實ニハレハレト起草はれテ 大内主
史・桂川主(?)の如ク 連美時年譜ナハル

井上虎一忠主行 云傳勅幸枝譜(印付)、
不口内役アリテ森ノ内(雷史)御達心中 エターナル
諸君

午以 鶯津壁裏鬼足舞 幸志起草、幸
志端端玄、原稿、持毛ル

大原氏行二十日、向方ニ急ニ至テ之(?)故
病死(?)矣(?)、又一ノル旨中ハ半八 全て書心
病死(?)以才數之口過失、行キタニ 特地是の
令旨、即日申奉旨書之タル中止ル

30. (木) 晴

午前 晴

午前 望丈、執事の手帳を借り、授業

の個人社へ送返して、午後、執事

執事に手

31. (金) 晴

午前 晴
午前 晴

午前 望丈、執事

午後 塚原次郎先生の講義

本日の気分が良くなつたので、お酒を飲んだ

(支) 10月15日

Wen

10.06

2.20

(支) 10月15日

Wen

145.87

10.00

経費 2.12

7.24

九

日

1. (土) 晴

= 今日朝5時30分起立 又可做30分+15分
夕辰以往未観察 大改=行+座充電+大+
午後 10.10 着 174、座台、入ル

九

日

2. (日) 晴

= 午前 7.45 頃 申事 下車 市中散歩 9.17
渠→竹林公園：至ル 観察、田口敷、投石
侵入休憩 3

(支) 新方区印車入
(2車+25)

10.80

Portugal

2.30

四三一

26. 03

九月

3. (日) 晴

= 並行後 12.50 條，自動車 = 富士山麓 (御殿山、
御殿山山中湖畔) 過去 (吉田 = 菩) → 東海道
十日市 - (河内湖 = 善)

湖畔，とまつて，休憩。午前四時半に前車
自動車 = 菩) 去り、乗替 - 4.05 の計是五時半
、雲霧高天原墨霧深し。又、富士山見入。行
きの清正 (川) + 乗合、代々木坐籠場 (吉田向)
1.70 條去田川 (川) 20 條

九月

4. (火) 晴

= 朝 10.5 條、乗合自動車 - 3. 乙女峠 (桂)、
桂尾峠 (桂) 行、下車、笠置・休憩。時既近
、吉川 - 富士山 (御殿山) 11.05、乗合、東川 - 吉川
= 下車附近、外人別荘地帯 (桂) 横、三ツ松
心石、奈トナリ山腹之端、帰。町内 (吉川) 今
午12時、晴。晚晴。

高野 (洞) ~ 稲川 (川)、吉川 - 吉川

九

月

5. (水) 晴

= 午以 四川敏、掛川行之 (高村四四) 中氣
一四五十五歲) 1.56 亮、矢車一介 賀瀬端、吉川
重牛 東京駅前御食、懸意滿文見ナドス
4.32 東京駅前 七丁目 Auto、配車手交
往室一入八

午後、山下一行 + 沢山 岐
丸又山車史、電気二明の来訪、木山

九

月

6. (木) 晴

= 午前入時、坂大島秀樹先生訪 改造社社長
先生中、社会改造論一刊を執筆して意見、大島
卫門 改造社の監修的、い、本大島先生の
向、大島先生は義理から地圖等行本に書及
此書会小口人社、都合、才人、人間社会、是
只力、其の地の人社、日本と日本語の会、是、
碑文

午後一時山本文彦先生訪 総務、重慶ト
の会社、希望、生け12人局、坂大島先生謹尚工
原稿料、前橋十郎 + カルム資料書写類、購入
14本若干、壁面、木山、久松 + 田中、近
岸田丸、草張加年、草張 = defend オル由、付向
處、1945 年、草張、完全 + 1945 年 2 時
碑文

午後三時、坂大島秀樹先生訪 全行会行
事、貴重な大型瓦片、瓦 + 人皿、瓦、
方針土、圓土、磚瓦 + 瓦片、才中 + 1945 年 2 月又
日本會、支那學生3名 + 之、日本會 + 瓦
瓦才中 + 1945 年 2 月又、日本會、上色事又 + 1945
年

午後六時半、坂大島秀樹先生訪 24 文宣加
通口、場所 = 黒板、瓦ヒガニ 吉良、川口 + 瓦ヒガニ

九月

6.

ト主張され旨達され 今ハエヤ 大山町工ニ在
行の相談、持ケルカレサレヘ不可ル旨)と
大山町工に 本山大手ニ申奉人史、可成モ^テ封
大山工史、可成モ^テ草知心此次オノノト
トニテ大山町工云々河上史、電報→上空、
何カス事アルトキ、大島處人早速ハヤウ
可運ハーベトシ^テ碑ニ吉リ
八時過、大内丸ト立、之後 積土路、鳥屋
行ナリ^テ此ニ分岐十時半帰宿

九月

7. (金) 晴

午前入時、吸煙四丸半行 大内史、法
外ニ集ニテモリ意見^テ木山 又以送、方正強
モル^テ勅使^テ宣知サル^テ十二時、吸煙^テサル
正午山寺文彦史半行 指田史ニ宣知サル又
今ニ definitio、執事玉清、局^テ告^テ向ニ^テ、
碑ニ^テサル

午後二時、吸煙四丸半行 大内指田
二丸、法也山門本^テ、叶達^テ、河上町、室山^テ、
大原氏一 パクハラ^テ、腹藏^テ、事情^テ、^テ事^テ、
相談^テ、可^テハ^テ、云ハ^テ、^テ方正強^テ、楚成^テ、
意向ナリ十五時、吸煙^テサル

夕 大奥史半行 大山町工河上史^テ、
又壹^テの道至急上空、大山町工電報^テ、
行^テ事^テ

九月

8. (土) “青”

三 朝半開生空音論文次ル 大事ル
午以四時考テ 乙鐵、仙台群一、豐物
社、飯山、佐竹陽信、立寺、明治午以
論文、武川平一、大輔、オキ
寺へんし、ツリ尾、久人社、立寺、大
寺通院

九月

9. (10). $\frac{1}{19}$

朝思暮想，足见其对李生的赞赏，估计仍
气，使 116.2

河上等處此以文堂主人之律來立，
報乃午未十時神西庚戌時以文堂二行，
河上等四二鬼既在太內鬼旁十一時坎
大山即夫鬼主行
相傳，此軍是少卿車道以金生梁行，計
畫，安行，後又入北山行，上遂行無
理平川，相守，每處以北山又安行，行半道
而後安行，所以北山稱為安行，而南山稱為
平川，故名也。

昨日午後二時迄以文宣先生二三人及
同人社士里二友，同上計畫、言行、勸告之
會。計有七十四件，貽復的費用，請大
家，此件十局三元告一休會。

當時中國社會再無空虛的文學，只有文學的社會。
文學的社會，就是文學的社會。文學的社會，就是文學的社會。
文學的社會，就是文學的社會。文學的社會，就是文學的社會。
文學的社會，就是文學的社會。文學的社會，就是文學的社會。

十二、前川文宣、計畫、川長、董生才、玄、依
徐、林、李士、李宗、楊元、世、孟事明

大月

9.

朝十リ叶ニテ以至時半度氣
 金ノ葉四丸其ノ叶人一叶ナシ度ニテ
 ハ温ニキ、相模ノ山ノ行度入、子整度、
 ナカニ度ニテ、内丸山ノ大峰半度度ニ
 ハ時ノ文童之子半度度ルニテ、
 義之度ニキ、又其用主、相模ノ張軍
 ハ立基ノト足做ニテ行(編輯室注)ハ
 ハ行明ニテ行度度ル

(大) 市川史記抄
西慶元

2.00

九月

10. (月) 晴

朝九時半度度、河上大山半度度内、
 市川史記抄

大島丸ノ市川丸(是月元の主候事中ツルハ道、市
 云、西モテラタ瓦)エ代表ノ方半度主、現事ノシ
 城立。

ハ文童、左土、現事ノ事ニ代皇ハラ一皇、
 連入到御處、叶事ナリヘケ 聖向、以巴御
 大半度ノ相模 代皇ノ瓶泡、櫛柄枝
 国若、朱スル 鰐籍封トテ、意味ノ主ニル史見堂
 ハ木ノ意味ノ皇ニ立

之ノ文童四、中ノ以、体破

午後四時過再司、ハ文童四、凶事ノリ之
 ハ金牛ヒ相模

至焉ノ吉方、保福スルコト、御車眞是、于
 ハ九月十五日コト、方ノ大掛ノカ、大山丸ノ陰半
 缘脚是乎、乙酉月分ノ事ナスリ 大八月ノ
 十五日コト、大山丸ノ行リスル、御車四月コト、
 漢共費王万円ノ大さスルコト、黄牛之、吉才
 纪草、元、更化載スルカ、孫御若、朱スル
 拝天、手帳、す4=14月18日スルコト
 河上、城ノハ文童文ノ大島丸=1877年、
 ハ文童元年造ス

九 月

10.

九時半 道新同盟宣言書解説会開催
午後六時

一時 河上支店より上り 河上支店員十四人
八時半 や行十鳥 午後六時食事

八時 河上支店前で九寅規監修
内務省、税關、企畫、第一課、支那課等
叢書(又一文庫)、元の審行奉公書半九
化工事監修課、皇室御用、清音、易政
軍事委員会、政治部監修課、支那課監修
原稿料約四千円 口人社及希望函
最後の、政治部監修課、支那課監修
信函、工大支店にて
之を大島丸に相談する事、又、大島丸
に叶ふる事、改進社に相談する事
山本支店にて

笑川、山本支店にて車輌、破壊工作
八時半、生田洋介、山本支店長、相談
篠原、社と密接、方へ、達成上河上支店
事務、宣傳、支那、出張車輌等の手
手配

大島丸本営、営業課、岩波、赴日以降、
十一時 十二時半以来 岩波支店不至達、振

九 月

10.

十時半 改造社、河上支店にて大島丸
営業課、営業課、大島丸
帰る。改進社、河上支店にて大島丸
午後四時半、河上支店にて大島丸
営業課、営業課、大島丸

四時半、河上支店にて大島丸
営業課、営業課、大島丸
午後五時半、河上支店にて大島丸
営業課、営業課、大島丸

九

月

11. (大) 晴

= 朝 大島秀矩 来訪 以文童、处室、妻子等
午後十時半到着 駅 3分=2分 徒歩

午後一時半、久
車一乗に上野へ乗入

夕方进入時 仙台、福井、盛岡、東京
御子(木)道川川 Auto(駕)走行、入
浴、美川林二人、洋芝、成人 美即
物可意

奉戸官男女、久松、西川、事半功倍
春物、修改、上叶中心送入

九

月

12. (水) 晴

午前 宇野丸山付近(伊吹山)附近
散歩

夕 宇野丸山付近、川原、空氣、草木
又空、身上=4回清音送入

九 月

13. (木) 晴

午前 宇野丸、室内から 東北太宰へ行け
宇都御室見聞 宇野丸、室、入り更に ~~旅館~~
正次郎、室、面接十分計りの丸、午後、通
川に加藤、又石原丸、御室、室、
帰途不至丸、大人、面接、正午還田
午後以一回行達一市中、其ノ全土へ、
土産物買入、相付、十時、始終元々

九 月

14. (金) 晴

朝 不厚丸訪心玄室へ御幸
七時一向 Autoへ停車室、主、7.5t 箱
列車、乗込、一向へ被引
午後 3.40 上野駅着、主、東京駅へ
宿室へ午後、主士気、帰る

九月

15. (土) 晴

午前入寺、吹き荒れ、星の協調気致内。
成利御四郎丸、崖壁等の心かおり子左、
口元走左郎一行、相馬橋十郎丸、左近、暫、清記、
西山成利丸、大政委員会ハロナレガタ
碑文

正午遅帝大寺部二十郎丸、子左、日中
河内室、古野作造丸、行、开川丸、勝子橋
整、川大原氏、佐又川佐丸ア、草造又、
走、川中井改修調査会議室付意足加才
一時向計、=碑文

神山内寺町民改定寺部二十郎丸、日中
河内、川中井電鉄行、中野、元、口
丸、計大政工事監修官主事、川中井改定寺
議行、佐丸工事議時吹き送行スルニ、碑文
加才三時、吹き荒れ

山本寅彦丸詫問行先の事、金賞明以
時、氣、約ハ八時行碑文サル、△

河野泰史主計行東京、松久山賀文士
畠講坐立演、佐丸川中井改定寺
策、川中井、辰巳行、人、云々十時半分
吹き荒れ、河野泰史所置役、路主、行立碑
式才

九月

16. (日) 晴

= 午前十一時大内丸、行、持田松田二丸、
院、左、気長、萬叶大内丸氣以取松十
生、吹き荒れ、持田丸、行、卫相吉、
世、吹里四郎内、方、大丸、改22-2又五郎内、
方、行、名義不刊明十八年、心、吹丸、十
生、夏以復歲門意足、支撑才、諸丸、意
足、心、心、口元走川、河内室才、行
心、要議アリ又研萬叶、才、空氣大原氏
才、川中井、草山東室、行、向才大寺八、行、
河内室才、行、

午後三時散会、正八時坐、吹、八時行
八時行院又

大内丸、河野泰史身上、川中井改定寺、執成行
佐丸才

△ 畠講坐立演、金、社会統計事、火先川中井改
定寺、持田、大内二丸、執成才、畠講坐立演、
之清川中井改定寺

九月

17.(月) 晴雨

午前十一時、坂山幸文彦先生訪問四十四年正月二十四
日、午前持氣アリ以迄、五十四年四月廿二日午前十二時
迄、午後五時半持氣アリ以迄、午後十二時持氣アリ
迄、午後六時半持氣アリ以迄、午後七時半持氣アリ
迄、午後八時半持氣アリ以迄、午後九時半持氣アリ
迄、午後十時半持氣アリ以迄、午後十一時持氣アリ
迄、午後十二時半持氣アリ以迄、午後一時半持氣アリ

向井、大院 手取 = 大山御夫先生訪問、声明書、
机前方 蔡惠堂、河上克士、立憲大學生依
頼又 岩本の交際山川元従兄、川文堂の
立憲連絡員、福井県立大學生の妻・
島田才子、無産者立憲連絡員、福井、立憲
連絡員、立憲連絡員を送りカズマ 一時向井
の手取

中野、秋元川万次郎先生訪問、七花丸、川内久人
社、(生)付江口一轉行待北叶与交際アリ、(生)川内
升次郎、(生)佐々木又無産者入、(生)川内
時左衛門、(生)伊藤定之

川内云時左衛門、(生)東京取引所、(生)川内
大内桂圓、(生)足利山口人社、(生)川内桂圓、(生)
川内桂圓、(生)足利山口人社、(生)川内桂圓、(生)
川内桂圓、(生)足利山口人社、(生)川内桂圓、(生)

九月

18.(火) 晴

午前 8.00 士波義和先生
馬の木義久

(生) 旗井芳

236.50

九月

19. (水) 晴

晚在氣流中，動盪整理又

九月

20. (木) 晴

午前上班是，一位友人從他那支給他
的信中寫來，說他現在中國，而且正在他
十一時，吃了飯

舊中國——明日本當時所反對的中國，這就是
我所要說的

大林丸 "Yorrell, Charter Movement"

翻譯：林子，他說有別的問題

午後大林丸——東京→往北——是中國的
新舊：午後二時返國，高橋和氣、立憲、西川八

·郎東→往北——是中國的
新舊：午後二時返國，高橋和氣、立憲、西川八

(八)

正月

450.00

九月

21. (金) 晴

午前七点起、童心キル + "1(即ち市内)行
子供十時出で
+一時所々走る事無下大林久而の間)の間
丸井井。一
先づ会社、略過 + 行駆車以先事以至
得子以一時、至"一先づ向き事、以
二時西向)所々走、叶井、身上、付近走り
以所々走り、走り、之に大原山口、
皆軍一時、相模スルコト、以所々付テ、上
二行歩立候スルコト
カラ三時散行所見
田代八郎丸十時近 + 1(即ち市内)、満喫、中止
1(即ち市内)21-2

九月

22. (土) 晴

8時左近行、源 + 行中、流 + ト2

(支) 正
種苗料 26.00
同上 4.18
車一 50.00
カラ 11.00
5.00

(支) 第一生産
收穫、販賣金生
甲山尾木一四
青田 6.92
2.00
5.00

九

日

23.(月) 晴

午前十一時、復習 午後4時30分:→レ

善工

大

日

24.(月) 晴

午前未だ丸井町の立会にて(人)心地贋外

、午後3時、金子、足場内改修工事、午後

模擬3尺、決算2~3号、近畿セ・セ・セ・セ

午後五時、高橋会へ行き議事、引

帰宅

九

月

25. (火) 晴 江蘇

= 午雨 + 晴 天氣
 午江 + 晴 氣候 → 改變天氣 \rightarrow 天氣 =
 雨全 + 川即去即變，= 晴的年 + 午江 + 即即
 算後即之晴 + 后 + 生 = 以即後八時故氣
 全 + 午江 = 雨 + Auto → 梅雨 + 午江 + 因此
 亂，暴雨 + 晴 + 晴雨

(火) 地球氣 @ 2. 10月分送	
書寫代	3.00
	4.00
Winters (生)	4.50
Wen	2.20
Vomij	2.40
中書寫	2.25

九

月

26. (水) 晴

晴 + 在

杉山秉善社會科學研究會；晴：之，吃八

(火) 晴 85.00

九

月

28. (木) 晴

火の津生火引、電報：21 15時 待合室
 12時～22時、十一時汽車～上り
 空港往復船場支店～西立花牛、手形五枚
 次而、支外之、同行、吉田商店

十二時過支那

同四七号、幸生車行過海、本トヨ一等、

八

鷹狩車上相撲「宮崎滿翁」、幸運、付十次之
 十以時、坂河上太郎河野屋生火
 大牛引、山越妻立、中後、重、内幸是
 花車送、内幸、山越木川、全、幸是
 、山越、到時川是、幸是、山越向是、
 行五計、付土、山越、一、幸是、大幸、
 、山越、幸是、幸是、幸是、
 カテ之時相撲～九、幸、行、山越、幸、山越、
 野、幸、山越、幸、幸、幸、幸、幸、幸、幸、幸、
 、幸、十時過支那

(火)

借入

300.00

(水) 乍辰

13.20

九

月

28. (金) 晴

午前十時過支那上段二枚、午後十時
 九、又、セイ、セイ、午後、十時、又
 九、入、高橋、押野、幸星、幸星
 、午後、次、11時

(火)	江戸経行(行)	10.00
一月分		
支那経行		20.00
人十二月分		
日本料		20.00
人十二月分		
手形		.90
書類		1.00

九

月

29. (土) 曜以雨

午前九時半去西

川口銀一郎忠川鷺津丸へ社 大正元年十月四日午前
 大改の会見、笠置、算計へ返し知り合ひ之を付
 家へ附く、中心坂川へ 七月川へ此元十月
 二〇二五十五年、四月乃至十一月川へ向ひ十三年
 美之介翁へ返す鷺津丸を其へ、1920年
 帰京又へ大正元年一十月四日会見の付
 旨の申報其へ

升上記二支來訪 余、鑑義へ十月四日八十二
 歳、河上太郎忠、幸、川へ島の活ヌ又
 方御手授、仰算義、川へ活ヌ

郵便料整理入

ノ言退行販

(土)	モルタル =7月分 ほち算入	20.00
	Butter	3.10
		1.50

九

月

30. (日) 晴

午前十時、復帰ト、善又

宇大講演會、川へ太郎忠来訪 鑑義、佐
 賴、川へ他へ健次郎復、上都乞はチタラム
 ハ、ハ、ハ

外國料ナシ、善又

(土)	モルタル =7月分 ほち算入	109.79
	Butter	10.00
	煙草 2.12	9.85
	7.75	

+

月

1. (月) 晴

= 今日在室書冊整理手紙書+2

トト充実若以て問題、皆々 トト

大原屋にて本の入出、三山廻山へ手紙

トト草花、品交替

計測社へ送り大原屋へ手紙を送り

送ル

+

日

2. (大) 晴

午前十時車内

昨日太原屋にて見、若以て本日、手紙貰ひ、
止ト明後日、手紙送ル

手紙内蔵ニモト Clean Max 犬糞、Renife、

做作在方 トト Vanuatu + 手紙奉付手紙

内蔵丸一 トトアカバナ文具付 Mexican, Industrial

希望、各ハ一十程度、毒戸虫上物達決定、上述
行方不明

坂越東ト引動組、坂村 優也、中村清又

午後二時半迄手四時半 大原屋内向通

場合、手紙、手紙調査会委員会、手紙ハナハナ手紙

田園学、坂越田川角野土地、坂越丸屋 錦及
千賀、園芸材料、蘿生及高草、ゴム一叶手

合、散居、手紙及用意

内計、改造、坂本浩丸車行、経済主食、

諸事、手紙及用意

太原屋にて明日急、夏支乃正期報付、

電報手紙

(支) 明日品 九点 小原屋 手紙	4.18
+ 100 手紙	2.00
30.00	
Wan	2.20

(入)

手紙手紙手紙

(支) 12月

6.70

+

月

3. (水) 雨

= 朝日左派 矢内空丸の殖民政策、竹原謙
中、人権問題は宣示文書に記されず、又書かれて
いたトトコ

朝日改造、村田秀治丸井行五郎、吉澤徳重で
ある。朝日立派の島津洋介

行方不明者を含むカス行方不明一連
知報と詐電

大原氏一十二月以降、北條信之助、
意味、名前可笑い時持てマリナとちが

月

4. (木) 雨

= 朝日左派議院、岸田文三郎

立憲政二時会議 河上丈人、内閣改組計画
議案

午後七時 大改行動予定=行、七時十分より
二時行財政一般、午後八時より同道會事
務院

+

月

5. (金) 晴

= 四方走東京所走今主催、土曜講七・講演
主催(甲子)→東京→行(乙未)

朝 9.15- 住毛見

11.30 大津駅

下車 駅前、萩之庭、拾宿二階、一室・共、講
演、草稿(書)

12.5 大津見、特急=東北→七四=麻糸大
川口

(文) 正社員

3.00

+

月

6. (土) 晴

= 朝 7.28 四村津君下車、萬葉、入、
休息(→、萬葉)→暖簾

午後 2.59 四村津君

4.32 東京駅

七四=自転車(駆け)一、橋外幸士(數)三、
拾宿 四階二室+同前、一地(良)

午後 4時 Auto(駆け)、幸(即退)、萬葉放青
午後、行、晴向平心(數)一、七時再(行)
在原道史來訪 社会思想の人、萬葉(即元人)
久、萬葉(即元人)、萬葉(即元人)
改造社、横山正子訪 東京→(九)講演化
類(即元人)

又青(即元人)高島一郎 講演(即元人)、幸(即元人)
久(即元人)、萬葉(即元人)、萬葉(即元人)

九時半(即元人)「資本主義時代」(即元人)幸(即元人)
人(即元人)、萬葉(即元人)

晚 7.3 河野忠、近江、萬葉、萬葉(即元人)
門(即元人)、江(即元人)

7.(日)雨

朝九時、受^て「万次郎車両」内車両
トハ配^{けい}シテル。开^あル先駆東帰朝旅費=付切往
アリ 大原氏一七接^{せつ}先^{さき}内車両氣新江上一心
而^て之^を、旨^の去^く即^そ作送^{うつ}大^{だい}方^{ほう}坐^すハ心^{こころ} 全^{ぜん}
口^{くち}一^い心^{こころ}ノ事^{こと}セサハ

嘉^{よし}治^じ九^く四^し月^{つき}大^{だい}車^{しゃ}方^{ほう} 運^{うん}送^{そう}先^{さき} 花^{はな}名^め大^{だい}
午^ご以^い二^に时^じ金^{きん}屋^や三^{さん}世^{せい} 午^ご以^い二^に时^じ 吃^く煙^{えん}寺^{てら}ハ
嘉^{よし}治^じ九^く四^し月^{つき}、全^{ぜん}生^き、既^{すでに}主^{しゆ}達^{たつ}一^い度^ど解^か成^な
ナリ 又^{また}是^ぜ九^く一年^{ねん}一^い改^{かい}造^{ぞう}の^の基^基本^{ほん}全^{ぜん}
帝^{てう}令^{れい}、下^げ翻^{ほん}送^{そう}、使^{つか}ス^べト^ト、^ト草^{くさ}退^しス^{カタ}ナリ
午^ご以^い四^よ时^じ、受^て大^{だい}内^{うち}操^{そう}田^{たん}二^に大^{だい}車^{しゃ}方^{ほう} 大原氏
一^い年^{ねん}面^{おもて}大^{だい}前^{まへ}十^じ飯^{めし}三^{さん}又^{また}九^く四^し大^{だい}
都^と未^み未^み行^ゆ、^ト行^ゆ清^{きよ}美^み主^{しゆ}大^{だい} 命^{めい}口^{くち}内^{うち}
早^{はや}車^{しゃ}、上^{じょう}死^し計^{けい}、旨^の是^ぜナリ 痘^{あざ}傳^伝会^{わい}
時^{とき}舞^{まい}ハ^ハ

8.(日)雨 晴^{はる}風^{かぜ}ト^トハ

朝九時^{九時}受^て「東車駅」行^く海^{かい}北^{ほく}、
之^を午^ご以^い二^に時^じ作^{つく}事^{こと}子^こ左^さ夫^{しゆ}人^{じん}、^ト玄^{くろ}窓^{まど}
挂^つシ

移^{うつ}シラム人社^{じん}、立^た奇^きハ島^{しま}夫^め子^こ在^す

更^{さらに}、^ト午^ご以^い二^に時^じ、帝^{てう}大^{だい}陸^{りく}行^ゆ、^ト至^{いた}ル十^じ本^{ほん}
策^{さく}利^り史^し、室^{むろ}内^{うち}、足^{あし}立^たス有^あ外^{ほか}被^は蓋^{ふた}ト^ト一^い驚^{おど}驚^{おど}
正^{ただ}遇^あ中^{なか}空^{そら}、^ト行^ゆ十^じ野^の原^{はら}大^{だい}作^{つく}人^{じん}、
尾^び事^{こと}以^い二^に束^{しゆ}一^い櫻^{さくら}花^{はな}、^ト野^の原^{はら}一^い櫻^{さくら}花^{はな}、
櫻^{さくら}花^{はな}、^ト行^ゆ止^と一^い束^{しゆ}、短^{たん}期^き、止^と一^い束^{しゆ}、
健^{けん}強^{きょう}、^ト行^ゆ一^い物^{もの}ナリ、^ト足^{あし}走^{はし}オクヌ
十^じ生^い、身^みニ^二十^じ行^ゆ軍^{ぐん}ト^ト心^{こころ}立^たアリ

暫^{しば}シラム事^{こと}ハ舞^{まい}セん、午^ご以^い二^に時^じ遇^あ

午^ご以^い三^み時^じ、受^て岩^{いわ}波^{なみ}大^{だい}島^{しま}秀^{ひで}丸^{まる}
車^{しゃ}方^{ほう}岩^{いわ}波^{なみ}大^{だい}島^{しま}秀^{ひで}丸^{まる}吃^く煙^{えん}二^に行^ゆ、全^{ぜん}生^き
左^さ夫^{しゆ}人^{じん}、既^{すでに}主^{しゆ}一^い時^じ行^ゆ、^ト舞^{まい}ナリ

午^ご以^い四^よ時^じ遇^あ地^じ役^{やく}行^ゆ、^ト車^{しゃ}方^{ほう}一^い時^じ
停^と輪^{りん}以^い半^{はん}始^{はじ}ト^ト、^ト行^ゆ
鐵^{てつ}道^{どう}田^{たん}之^の功^{こう}又^{また}操^{そう}田^{たん}大^{だい}車^{しゃ}方^{ほう}
蓋^{ふた}ト^ト、^ト行^ゆ地^じ役^{やく}朝^{あさ}御^ご走^{はし}氣^き、^ト行^ゆ
大^{だい}内^{うち}車^{しゃ}方^{ほう}意^いカ^カハ^ハ
カ^カス^ベ時^{とき}辛^{から}土^ど气^き敏^{びん}、地下^{じか}底^{そこ}、^ト行^ゆ

+

月

8.

北山丸主賓トニシ、年才四人^{アラハ}大島丸
加一欽^{タク}美^ミ

リ十時半土会合皮ツ川井に自衛軍^{シテ}
車空所^{スル}美^ミ第四、半立城^{ハシタシタ}、以^テ第^{アマ}ア
10.40 着^ル、十一時^リ遇^カ王^ノ賀車^{マツ}
足^{アシ}近^シ一ノル五丸^{ハマツ}、吸^ス七^シ舟^{フモト}、大^{アシ}
十一時半、吸^ス賀車^{カハ}ルヤウナ

+

月

9.(月)晴

朝十時半、吸^ス大津^{シタ}若下車^{ハシタシタ}、莊の元^{ハシタシタ}
高^{タカ}湖^{シタ}、八^{ハチ}支^シ、豊^{ヨウ}下^シ、吸^ス本^{ハシタシタ}義^ミス

+

月

10. (木) 晴

午前+時、晴 田舎

午後+時、就効處心の向日

(木) 東京行費用

91.39

+

月

11. (木) 晴

午前入時半去西 駅到着處理

Susenmichi 著書初版+午後+初回

午後二時、坂本利明至四郎志村人組(サムライ)

四時過 Auto 7時半 四時半 13時 大ビル八階
住居場所へ至一室始焉

五時帰宅 大内子育会、新潟開拓團主事代理

= 畠山 丸吉 営業課長、あとは一と・と主役+二
月上旬 東朝鮮十日間にて、勘定叶手取次未だ

ハセガワ重義改テ代行箇、一付正味現
金ヲ返明に至復ツリ可矣

次一全、税金ハテ方側会議民向代表達
也改改善空ヲ議題トスベシト翌日成立

次回審議 2月21-22

利害、税金ハテ方側会議民向、午前、主度
支堪案、本批改事項、理由調査、午後、改

次議 2月23-24

次回、特+十一月才こ本郷テ会見

七時既に 東京開拓二丸、勘定会+御入
東京者、往復坂本利明、旅費アリ、八時半散
会

飯島竹吉司丸、自便車= 東京開拓会事務
九時過用完文

+

月

10.

暁豊志川大川二十日大毎地方役二万石が大
改、手写ルヤル、記事アツタレニシテ事実記載、而光
・過丁人等、手解アリル、此レ何ト手合アハ
・手合狀一人

+

月

12. (金) 晴

既に在宅 口記>退入又歎牛十日向山
過口來サセル事元朝江川津(津)退事アハ
シミテ手一束

(入)				
夏旅	409.50	32.50	13.58	46.08
義朝江川至手高利	100.00	Delica - 無		1.35
→江川寛利利送	10.40			

+

月

13.(土) 晴

午前六時半去所

Suzumichi 第一段、芳江 - ヤトヨト
 午後二時過退而四時過自由過高場今、
 高岸調査氣、也第大朝大母江若連中之現也、
 195~ヤ資料蒐集、摸擬+トナリ 今月中、土上一
 見立ツル就後七時過教會ノ屋ノ所又

+

月

14.(日) 晴

秋晴、快天氣 = ハーリー + 時半、矢車 - 東二
 十世ノ人ノ仲、明石 - 行事 錦城九、
 ト所歩心、完全、至、無事帰國、行、
 完成ノ以迄、島近、故步、午後四時去所、
 所へ、帰途一時半、明石公園 - ナズル 5.11、
 矢車ノ帰路也、七時、吸ト

(土) Butter = ② 3.00
 Vermouth 1.50
 合計4.50

(日) 完全行費 11.12

+

月

15.(月) 晴

午後六時半から朝一車 幸運印へ加入
行、今朝は模様より更に二人の船へ行、油
草、毛等の荷物を積み、復帰する大工達と
一

日起3時30分又午後二時過の一時向之
迄甲板高サ一時に正午三刻ハル運動
会次ル

朝四時八時半半行、幸運印へ復、更に八時半
幸運印にて起、中止、午後更に書類、機密文
件再付、向來一意見付

+

月

16.(火) 晴

午前九時半より

伏智史 Verner 1914-1918年間陸軍軍人
として手遣し、日本にて久留米丸にて相談、上
記の書類一重複1分、11面、分、支度スルマニス

午時半 神戸、海事局にて同書類を付加せ
れ奉り、既章記念行計ナシ暨向アリ意見達ノ
十二時過書類を一

午後一時半より3時半、神戸大井久留向
御川、西脇支拂、種々軽便場所、以て等
故人

向セナリ且計用瓦

午後十時半より、竹翠二行+大猿笠足、
足物心葉花、置ヒル

(火) カリ 100

5.00

ウチタカヒダ

1.00

辛太吉

4.00

+

17

17. (木) 晴

午後十時半 = 現在 18時半

+

18

18. (木) 晴

午前八時半 之前

森の内陸部、二本松市 + Verwaltung, Beck

number は 1000 通り、気温：最高30度、最低15度
18時半

東大法科生会議事記 + 会員登録、現今の
立地、岡山事件、調査室大・けむり町、事情
正規

午後十時半 予定 地図、地図書
資料選手 + ほんの記憶才抜粋

Lebenskostenindex -+ „Wirtschaft u.
Statistik“ 7月

7月度の値

(?) mely-ekvalit

1.70

(?) 7月度の
mely-ekvalit

3.00

+

19

19.(金) 晴

既口在氣 朝火等過森ト丸半分 大山掛山内
神川会主同席、早馬船本ハナ半共ハ西へ
云、火ヒ二人、意久、煙ト森ト丸の大山北一
中火延ハ21.2 十二時、吹雪去ル

午後二時過 横山おこま反 三坂、勤メル
高田市沿河、付ハ木村才久(間)、飯又一郎
ケル

+

20

20.(土) 曇

朝十時去ル
森ト丸、支復御、同日午後、付相談了
午後一時半迄行以在丸行連、弓削寺校
行、吹笙奉会財政委員会、川村大野森人以
左、森又吉、弓削寺事務室主壹+トモニシテ
五時散会

森ト丸ハコ待田元事務所、吹笙、仕事二件
行、会合トス

夕刊ナ、整理入

がた主役、今朝雪去ル

(八)

新元行 410.00

(土) 新元行

10.00

+

月

21.(日) 晴

午前 山野草飞鸟走訪，中西島太郎丸，主御食、
トウモロコシ一時的計，山野草又
午後 喜多川の道神戸へ行けり。ヤリ便り之、
ナリ，私物行取地，賀子^{ハタケ}。

(支)	ヤリ吸地	
	8.40, 中毒者	6.80
	Pul-sel 一斤	2.30
	吉上屋	1.00
	喜一	50.00
	喜一郎	10.00

+

月

22.(月) 晴

朝口左近走訪巡回又過候，日記，望ナトス
晚鳥の巣計画，以降食味丸，主一
ナリ，便り之。

大島青崎丸、今度是地而，其怪物，亦利
也。但ナス、口時、大内丸、喜大、エビ丸人
上火道十三人ニシテ、行けり。行けり。其ノ
大島丸、皆弱也。叶々行けり。

大内丸、皆弱也。葉地、草場、小内、
瓦屋、ナレハナル。喜一郎、喜一郎、喜一郎、
ナレナ。

(支)	元支22日支	38.00
	淹食生糞水	5.00
	Infulum + ナラキナ	6.52
	Butter	1.50
	Ung	2.40

十一月

23. (火) 營雨

午雨入時過去雨

朝霧迷

太林支火次丁一火 Howell, Chartil-Movement
認為涼高之運：清以意足，達心之火，
先火以成火

午火一時行氣癸水森下太林火而向卯火，
四東去火二時散火

而高官得火司，執古事而內壁營神
森下，而火之帶，高官執事司入注之于
流，火加陽氣，二時半散火

辛火火上助火運，仕事火之太陰丁火是火
方動地氣運動天地，十火更之隔連也，火之
也，分推之火

火之三時退行，而高官火：壬水，得火之

十一月

24 (水) 雨

火口左氣過盛，日記之過，又書數，起此

火

(土) 未夏

85.00

正直是勢

.79

三

25.(木) 雲

六月入詩過之歲就春心

十一時 乞饅食，午有乞餉者以杖擊其頭，
四處乞帶半乞過，乞饅，止乞一過即加乞向
一諾才可，因在史局裏見也，割亦云，乞十日空
盃室，一無人使，又一止十日乞乞十二時散乞

„Wirtschaft u. S.“ = \leftrightarrow Lebens kosten index

二十九

卷之六

是九二的《易经》爻辞，原文为：「上以书契，下以纪政事，九二吉无攸疑。」

午以四時退行而至

河上第六，其一也。十之六七，積之於地，四處中十分之四，上一色事又一色。又其二之五分之三，則人之福也。辛士加得此，才合之以成也。

失敗草木一，本來為之今一改去野處のせ
テ一の事にトニ事ハハハハハハハハハハハハ
更、替行之本來之ハハハハハハハハハハ

十一

26. (金) 壓

二 半子 + 等才也氣神戸一^行ナニ^工鐵^レム^ニ半野田
上一運八一十而从奉邑唐^ト木^ト是^ト才^ト本牛^ト一^ノ
空物^ト十二，口吉銀^ト行^ト文化、四中^ト先^ト高夫^ト
道^ト

「一」+一時半過、矢中→太鼓 \rightarrow 行 + 空地
「+」+九裏一村十書物、矢中才加瓦

(去) 宇野田一章 2.00
下駄 0.00

十一

$$\frac{27}{\overline{2}} \cdot (\pm) \frac{\sqrt{3}}{2}$$

Wirtschaft u. S" > R "

今リ吉草酒造より八百十ニカ大朝大海運
御船一隻止上ルルハシテ千元通計玉天地
足物也。八月廿五日

印東這次史地考，教了「正東友人次子」
他寫「醉心地圖」

七

28. (四) 答

三輪壽莊史半行 小字，內部

事情就快十几十二時，這事就快

午元事士性曰仲因午过一故牛
叱之，牛乃大见心

(七) 历史与天气 300

十一月

29.(月) 晴

次の左室 離婚處理

大原氏、先に達成へと腹案、練心

(土) 社説研究会

地方調査会

口宣計画

Point

新規支社開拓
Principel = 三九

新規支社開拓

新規支社開拓

Wani

10.00

10.00

10.00

1.50

6.40

1.80

3.20

2.50

十一月

30.(火) 晴

午前九時半去所

"W.-& S." 9月集+足元

食以去所午後一時江戸城食敷物達也
運計=3千、待つ事十分計、3千大原氏車上
、一空→起候又

先づ今、开门事務未だ整ひ、叶は友人等、希望
されこの内(立ち去る事處)にて大原氏の主
の事、復讐^レニ^{シテ}豈^レ4回^レ、叶^レ此^レ
=3号、~^レ数の申四回^レ此^レ内容又一十故
、上^レ此^レ事^レササト是^レハ

次、車向改入^レ、年^レの人に^レ尋^レの口人、
大原氏一歩^レ感想^レナリ行^レて、遇^レ支那^レ、
即^レ將半、方針事務大物^レ打開、是^レ既行^レ、
遂^レ財政的基盤^レ確立、既立、希望^レ又ヒ^レ、
等西門が去^レト^{シテ}モ^レ此^レ地^レスル故中^レセハナリ
復讐^レニ^{シテ}望^レ一^レ此^レ

之、為^レ大原氏、此^レ三月、此^レの間此^レ用意
、事業代^レ支^レ方、法儀^レ、^レ口及^レか之^レ退^レ至^レ
事情^レ達^レハ^レ此^レ月^レ、行^レ道^レト^{シテ}、^レ明^レハ^レ
要^レ此^レ二^レ月^レ以^レ後、此^レ宣^レ傳^レ、^レ此^レセ^レ此^レ
立事情^レ、變^レ七^レ月^レ、^レ此^レ間^レ此^レト^{シテ}アバヘキ^レ立^レ
ハ

十一月

30.

午後二時四十分、希望、午後六時半の解決、
困難な事、かへる希望、畢竟喧嘩~~ハハ~~外支の原因^{ハハ}又「年、譲戻す事十数日
以降十日以内に因由、人、時々其、又若く
代わり十日以内に畢竟かへる起因アリテ手はり
やらぬ、越後山形在、山形、地獄^{ハハ}
の一年以、北山形支流等々、可へる程度
土産近い、是れ、因由、星急十日以内、
声をかかぬ因由、因由、人、事、事アハス達
~の既知因由、人、云々才立ニタハ因由、
特急タハ因由、是處ハモチニ吉^{ハハ}ノ招^{ハハ}
オハカル、此山形^{ハハ}才立云々若亡ス
カク年、希望^{ハハ}又^{ハハ}山形、山形、而既^{ハハ}暫
時放棄^{ハハ}、外ハト達^{ハハ}
午後四時過譲戻ス

ソレガキヤ、内既^{ハハ}幸^{ハハ}久留向御^{ハハ}大井、而
其^{ハハ}今^{ハハ}既^{ハハ}本^{ハハ}物語^{ハハ}、幸^{ハハ}、清^{ハハ}ト心^{ハハ}ニ五事、
又^{ハハ}、暫^{ハハ}元^{ハハ}被^{ハハ}欲^{ハハ}是^{ハハ}、桂^{ハハ}十日^{ハハ}告^{ハハ}失^{ハハ}高
橋^{ハハ}、御^{ハハ}變^{ハハ}ホ^{ハハ}又^{ハハ}又^{ハハ}東京方面^{ハハ}、幸^{ハハ}中^{ハハ}の
御^{ハハ}、書^{ハハ}面^{ハハ}又^{ハハ}一^{ハハ}近^{ハハ}同^{ハハ}九^{ハハ}上^{ハハ}、桂^{ハハ}、
八^{ハハ}故^{ハハ}一^{ハハ}近^{ハハ}皆^{ハハ}ナリス

二時幸^{ハハ}幸^{ハハ}久留向御^{ハハ}川之東^{ハハ}過^{ハハ}故^{ハハ}場^{ハハ}、

十一月

30.

支那封禁の發展の方法

午後八時半大改訂版^{ハハ}松田奉^{ハハ}即^{ハハ}虎^{ハハ}江^{ハハ}口^{ハハ}近^{ハハ}八^{ハハ}支^{ハハ}、壹^{ハハ}ヒル^{ハハ}九^{ハハ}至^{ハハ}、
ヨル^{ハハ}下^{ハハ}、幕^{ハハ}立^{ハハ}河^{ハハ}行^{ハハ}、杯^{ハハ}弓^{ハハ}。方法
十時四十分、矢野^{ハハ}以^{ハハ}來^{ハハ}ス。

十一月

31. (水) 晴

820. 在室中作事。此は午後二時

十一月

1. (木) 晴

午前十時迄四時

W. & S' > N.

午後一時半頃今宮神社境内
に藤蔓、竹丸子等在室中作事。朝光場所。
二時前後 箱上に木製宝珠有。十三支
事起。是週末云々。遂に又十時退入。

中央或坐御子計。松村先生才過般遺言
、私へ渡り。

午後四時半退行。土段角山道高橋先生
誕生日=1917年大朝。私田忠介先生大母八十五歳
丸外一又子帶 大母、才來來此高橋蓮史
・私: 大朝、才十日程、や半程此處。午後
、私故。

(土) 旅費	4.00
小計費	111.64
計上一	10.00
Delice 一箱	1.35
支拂	4.26

(入)

或坐御子計の遺言元 0.00

42 20. -

十一月

2. (金) 晴雨

午前左氣動筋心升

午後一部、往々立筋而大變前、早以爲變へ、
一時二十分、氣車以立筋へ行、既變以立筋へ者
之吹き、十兩汽、火心送、本管リリード、火心中、
計マツ電車、至リツ、市中、筋、は十尺以上、内
内、ケ、並道、而立筋、立筋、半、四半大
橋附近、午後、一時、午車、火車、火車、火車、火
等、吹キ

十一月

3. (土) 星

午前左氣動筋、火心送、本管リリード、火車ナドス

火心正、往々立筋、火車、火車、火車

(支) 複数半	1.38
火車、火車、火車	1.60
立筋、行費	10.45

(支) 立筋、行費 9.20

+ 一 月

4. (四) 晴

= 午前十時、復習 + 1 = 整 やす

午後一時、既 + 次段文を讀み、身に運

本行ナル種の復習 四時頃摺へ3種アヒ
作人行ナル辰云等方法の氣又の如ヒニ
研究行：宿泊、上東京→八仙、宿

(土) 17日

6.60

+ 一 月

5. (四) 晴

= 既口在走行中、整理 + 1

(土) 17日

5.00

Banter

1.50

$$+ - 1.1$$

6. (六) 晴

午云，九時半之雨，既3/4止。

高寒類生長於山地及高溫氣，可見於

土山脚夫走的，車快，報先，希望以先生為轉家
人，端坐了去。

十景开添支车行，主客>若リ一ノ内に金鏡3本
今後=本鏡地、半弓、支付2人又(留持)送
現物)1等+2等に之の向支上相達スルアズ
主弓持毎金鑑鑄製、高野抱持又如事、是
事トソリ+弓持鑄製、又次之
龍虎木植木支今朝天王寺器3種、朝日器
へ往意3種叶傳冲史>二器=其2+模様立
トサル又保江人+ニテ又久母3計、呼ヒ
往ス ち分在途、待ツラ、次之

午後六時退院用完了

+ - 1)

7 (18) 3

$$\frac{1}{2} \overline{y_1} + \frac{1}{2} y_2 \geq \overline{y_3}$$

Wirtschaft u. S' 3 $\frac{1}{2}$

十次鉄道改正の東北新幹線立地選定調査報告書

「行進曲」

十一月

8. (木) 曜

午前九時半去所

森川史官高橋佳文可憐の行方を尋ねたが、未
正午

江藤史官本年生れの消費銀金調査、
+2-14、住門主課又内史官資料室へ入る、生
病の古野史官すみれ子、松井一、是人質沖
東洋銀行に預けられ、置き札にて返来不可
不共、又予て用意

二午暁岐義等史官の訪問、協議更に十
内史官大庭又上協議の事、同心相談する制
度、其便に手当り(年、分、既に元年半)と
り)在所上、既ちの有りしに、これが年、達成さ
れり他に難能、是の事、左人歴史の運営も
之に難能、是の事

十星川史官研究会、改組の報り連絡、
得て記念式典

午後四時半退所

JR.T. & Yamada's 應接

十一月

9. (金) 曜

午前九時半去所

北島史官、其の一部は田中、又王石五
十四時半、申込件一、幸太郎(西)河野史
官区方の会の先申入

河野史官、書類、出でた日、所今や重大
な危機アリ也、近々モリカヤラカ付ける迄、
地主税(山城主)交渉、先づ未定、出でた後
まことに現に公司局の通じる事ハ無事、事
情、夏物、冬心考慮に力入る一得一失
ナアリト近事

(土) 正帽

カリヨン

2.20

.57

+ - 月

10. (土) 晴

午前 + 晴一朝 > (午 + 佐喜村 游學 ~ 午) 午前 + 大
妻執行 - 晴 \oplus ～ 八 + 鹿丸上, 烏丸下 \oplus
馬乃里, 章行式 拖行(ノリト) 一 朝 + 化人 + い
3時才) 五更半
午後 江東 + 佐喜 + 人選 ~ 神宮 ~ い + 市中
走馬 > 走馬 + 晴過 河原
おはや ～ + 本 + いのまへ

+ - 月

11. (日) 晴

午前 + 佐喜復沼 午元車 + 佐喜心 + 有馬道 =
遠見 + 田崎中河原
午前 + 月弓 + 佐喜

(土) 晴

1.09

十一月

12.(月) 晴

午前 与氣足・住友銀行支社へ取引金足112
レ東京社士切手手帳買入一冊
レ銀・洋手帳物手帳・大改來信添付)書面手帳
、湯川より到
午後 大ビル八階へ寄り、大改自由通り高橋
会場車票手帳・土建社送、2枚 種類選定
、2枚トシナカ協議会会事以取次所
第一下田将軍史・東京銀行方高の得失に特
融、銀行又金額元・日本銀行本支店取扱
、手帳書、中・西山支店取扱中、本店同上
二十万円以上之大手本店、意中、表記
心地々

不在中入澤達吉史及夫人手稿事務
接洽中

竹林屋
日本銀行

平生年一保

5.00

3.36

十一月

13.(火) 晴雨

午前入時運甲南サキ枝=門市示庭今、支那十
時運港車入山川

ノーリ去所

舊中央及華南史の十一日取扱ナキ日
支那支那支那支那支那支那支那支那
の手札トス

午後一時半研瓦更衣奉下久留向四ツ大
井、西支那支那種九朝北之時故人

奉下久留向四ツ大井・別八時日ナシナ
特融、2枚手交

改造社の主・元人御识别前情心望
史一説、ナムニ氣方内通ヨリ其の西へ

午後四時支那研瓦

ノ往入ナ、ナチ整理之

大島秀雄丸一五万五十円、足乞手元封入
、之届若送

十一月

14. (水) 晴

8:00 在文書冊整理土・商川

(3) Butter

2^{lb}
7^{oz}

1.50

.35

十一月

15. (木) 晴雨

午前九時半去西

鈴木進太史・处世、方針、予算アリヤウ

午後又

文書室迄整理又在文書へ運入

文書箱半箱+一枚、送ル

神戸乃へセキモト敏、Lufed及半訪筋
建工場、方筋筋、其處に付乞ル一室料金
山元、

午後、先づアレクサンダル洋行、文書一冊
送ル又

午後四時半退行御元

+ 一 月

16. (金) 晴

午後四時過 十世ノ人、達大阪、行中市中、
奉祝祭、足利、道頓堀かき方 = 3 月度二十時
過印之久

(土) 大阪行費

8.88

+ 一 月

17. (土) 晴

午前九時半立可

以有史ト河内支川、電報、意味一付初度又
十時半過行 市内、吉野十時半行初度又
郡富之助若物價皆起端、清山
夕十時以蘇支半行、清原、河内二支、
今、カリナト、笠原、向三子、二束半行、向東土川
行方走、近井、達一、日吉賀民元上、堺掛川近
無産大聚會、奈良見江、社民黨西川又室東
川、行方走、近井、大岸、達一、足利行
逃走、ナカサハ内漢、上、豊田人情、行
全、最後、波多人情過、人情、行
清原、日方走入寺ヶ谷此壁得川ト迎、
全、大阪、近井の入、行束上、木村、草場、
董也、行一週向人行内、此而後、決ニ事
ナリ(之一)

カリナト、井生史士、出ソノハ勤行、火一、
井處、ヒヨリ、寺ト先祖、秋林木平、意次、達行、オカレ
リレト希望サル、全、草場又
カリナト、午前二時半吹、至一、火、高行、ナル

+ 一 月

18. (日) 晴

午後二時半から十時過辺玄サル
十一時、飯糰生相馬山之史來訪の方
寺上地主ト、会合内歎、現況、近々大學
年々近づく、近々甲斐の状態トナリ有り
之を、内達トナリ
金、金、乞う、近所に、これにて財政、21+ト
叫び、金、金、現況、大体、近半強か
達者、大に苦心事情、ハシ旨、是が今暫い
考慮、時の士人、一社主、近々達者、得
又此地、又抱括して得る事無、何處、此地
ナベト意見、モ達セリ
ナテ食事、共に午後二時、喫茶玄サル
士方程、ソシ、故歩ヤ入云ナサナト清
入時先序ス

+ 一 月

19. (日) 晴

午前在家、事、同上、芳案、立ツテ有事

一八割記入

吉野太内壽キ失内至四史院、之は、大臣氏、
正月十四日、遠懐ナリ、金、御近づ而有、持ナリ
諸史相馬、上、近外重太アリニテ生更、里在ナリ
旨中通

吉野山藏史、子口上章、管部令ニ
同史元上章紙、ハシ、便心付カニアムトナリ

(21) Wm

2.50

十一月

20. (火) 晴

二十九時半左右

卷之三、整理又

十一時還至石川方吹町丸山^ノ井^ノ井^ノ村^ノ宿^ノ、
午後二時又西行。正午過^ル先^ノ山^ノ之^ノ口^ノ、^ノ井^ノ井^ノ村^ノ
過^ル木^ノ原^ノ一^ノ年^ノ二^ノ時、^ノ遠^ノ寺^ノ古^ノ川^ノ

氣以時中運行自由通向協和、立德
因以尚節二支十二流行卦以坤田為體、九
陰以養本末，革繩以順心而變同質，上平
生九：四以四九一往之爻，子集之極九
以九四三爻之互互為氣

四、对于两个以上的劳动手段或要素是属于一个整体的。

(一)

٢٣٦

450.

(中) 大豆粉(豆粕粉) 10.00

Shrewsbury 153.84

Nette

Honey

1.50

240

+ - 月

21. (少) $\frac{1}{2}$

תפקידו של מילון בתרגום מילולי הוא לסייע לlector בפירוש הטעות.

“久而向暮下之丸利”空氣、其二、六時、至心
之色人相待又

朱子道統集卷之二十一 哲學才針之二十一 編成乙一
此才針，東主宣傳者，一系意見，未以乙一
也，上是丁全，即太原氏一派全，非獨，雖單人
是口述批評之二十一，哲學才針之二十一，朱子道
統集，編成乙一，口述之，是乙一，又其，近四
一，丁一，印經，卷之二十一，是乙一，乙一

向天子之餘等，猶成心大臣也。是如上
之以先才，委向以東事之初，下改之乞
善如某之遺不以不至。

近づく時に手を貸す。手が足りぬ、返済中、枕元
重要な事で大原史かの寸前以降は計り少く、
213 二丸レニキナヒシタルノリカニハニシテ此度
大原史の東京へ中退行させられたり。此ノト
シカニカレニトハナヒシタルノリ。東京宣傳局にて
近づくスルハナリ。

諸君之意向，易書故（每體兩筆，加～）
以飽達我心，平、保存之。外以大聖
氏為氣也。凡人以一物實者，未一以一
一致之。

十一月

21.

午後二時、喫茶店を出る
午後四時、四條方運動協同会へ現る、車いり
汽車で
午後五時乗車券を手取り来る

十一月

22. (木) 晴

午前九時半起立

後藤史 = Brief = 十年通り毎年大毎村島
史一親は年々トスル事、ナメナリ 指導、高橋義一親、村島
大林史 = 過去大原氏、近ヘハル委託の後
失敗、財産を失へる事ハ、宣カサリトナリ 今ハ
タハカニヒタル誓ハル=ドラレタニ、カト白; 疑是
孰知數起立

午後二時過渡利川賀四郎丸主方打合
四條方大ビルハ端 = 7月号、四條方運動協同会
主導立時命令一二、議事、既に終了、付田
(大毎)史一親、主・四條方運動協同会、此向答
是達方付議以重・付全、規定・改明ナリ
楚君、議論ノ研入セ大了數・付全、規定表し
ルル七時半既に会合散会

即ハ、飯島中吉司史、自動車・奉行史、内裏
奉行史下車以車中ハ既定、同様に付向史、
之次ノ甲、研義正下、宣傳ナルナム整成、
既にノ既ノ既、支持ナリハニテ而ハ人間方法
既既ナル時過キリ

+ 一 月

23. (金) 晴

午前以薄支出来，后又以薄知一史某访 暫33=心
了薄支來
午以正時過支完工改先工故~午+收薄支~
改沿+高平切可 (主事 10) +薄之
四時半過+地方町：重耕科理法~行) 收薄支(11)
今又前田晴系 今 東丸(11) 补木午太郎氏
勇子丸 补木光重 東孝慶亨 及ハ久，乙史 三、行
夫人の口火 俄或坂十、大時過故人 醉手
午中3年7過+小酒也~+時過)

(主) 以薄支~次

20.00

+ 一 月

24. (土) 晴

午10在完 整理+トス

午以正時過支完 大改頭~行+麻糸青3枚
午後 故事 10.10，汽車一乘り+川床又奈日
船+7辛士院，無気乗車>利用又

(主) 未見

85.00

自転車税

2.70

元電料一ヶ月

1.00

Portugal四元入札支

9.00

十一月

25.(日) 晴

午前十一時 東京駅前 14: Taxi, 駅北
飯 喬慶軒： 桜高 No.23 室一入八
室食， 徒歩 20 分 午後一時半， 吃 午行相生
十全拉、 行 + 江東拉 及 一品拉 天狗報告
及 全 拉 招 2 金燈籠壽司 晚時遇故人
紀念、 久々久々八時帰京
回家， 水越幸一郎 來訪一時半， 送了
入院， 以十一時半休

(3) 拉支ナフ

“ 会費

10.00

.50

十一月

26.(月) 晴

午前十時、 火の 桜田橋田大内、 之處生ガル
大原云々、 今見叶計旅館草行町、 21+1 駄半又場
裏云々、 五口大臣云々、 之處生ガル、 21+1 大原
行町、 大臣の 人一、 14時成、 21 之一出云々 大原
云々、 五口大臣 = 21+1 桜田橋田大内 - 未入21 = 一
致云々

21+1 人 朝霞二午後四時半、 吸 煙乞ガル
午後五時半、 吸 大島高城丸、 會津 兼六
半、 醉軒幸一郎 サル 未生、 21+1 五時半
物置上、 外神山山頂、 要 サル 21+1 五時半、 神山
山頂、 便りト至川川以東支川百品之ノ
カツ七時還 拍付ツツキ鉢 方便全人、 生大人
引領シル

+ — 月

27. (火) 晴

午前 + 時 放課後，駿河台会館本町：入門處
未だ 3 時前 不在。精算 $\text{Bridgel} = \text{人}$) 月付 +

碑文

次一中野、福岡(東二支所)執達研究会、
近畿 + 番會、近畿 + 佐久 + 遠 + 朝 + 丸
、東北 + 四谷、福岡 + 行手 飲食 + 7. 情報
7. 月記 + 5. 月 + 1. 月 + 7. 月 + 8. 月 + 9. 月
帰郷

土曜 + 向日 + 放課 大島高姫東京迄
以 9. 月 東京取扱 明付申下事務室 + 1.
始動

+ — 月

28. (水) 晴

午前 + 7. 月 + 駿河台 3 時在中、入
秋舞

+ 一 月

29. (木) 晴

午前 9.40 大阪駅着 午中来校 - 十一時半

帰宅

午中 駿達社へ寄り向

留年中吉川の豊河上士吉郎吉田繁一 望月深
浅川丸来時 9.14

又食紅茶野先人夫事 伊勢氣宮、帰途未
訪問 - 4月飯

仙台、宇都宮東京、支那以上空 4月飯 11

(△) 上章料金合計 = 12)	9.00
午後会議料	9.80
四地賃費	23.85
予定料(9.24 2.12 2.12)	11.48
24-7-12	9.80
便益料	1.00

+ 一 月

30. (金) 晴

午前 10時去所

鷹沖丸 - 諸美実伴事略、故土、調査、移
森戸史 - 東京口人、妻向、姓又 大至氏 - 之
室、平次 - 9月 24 Prof. Peltzbecker, 3月 24, 予
篇書郵送款整理

午後 1時半退所 向山通商協会、立寄九
太郎方面 9月、在籍 3月既ル大通方面へ、後段 3
月: 番号略

夕御飯運動若物便持封筒、壳計12

(△) 江程料金合計 =	10.00
午後会議料	25.00
書類代	8.46
午後料	2.00
便益料	1.50
旅費	129.62
計	10.00

+ 二 月

1. (土) 晴

午前左室 即支路書 + 整理手帳事
午後散歩 東明、行 + 21-7-7、其) 無地先

往復

大原駅 202-2-7 (2) 14-1 次日、(2)
地主 202-2-7-21-7-7 旅費 結成 14-1-21-7-7
ト中止

+ 二 月

2. (日) 曇以雨

午前十時、復習 + 1-7-7

物價指數調査

午後 エーテルスト -> 30. 3. 1

(土) 2月4日	10.00
地方調査院	10.00
明治研究会社	4.18
Wen	2.50
計	1.00

(日) 不定入 1.30

+ = 月

3.(月) 曜

昨日在室手帳と資料書類、整理へ記事又
午後二時過森敷村史来訪 春八天日 早苗、
設計大会へ、講演先地圖等 は九時、
次第に不得止 在心設計局、人へ車高へ
測定へ、一時半、程度 + 8m 高 + 1.5m 可
能、午後二時、返辞去る

十時半史一 東大 次郎先生 + 健爾、一
會生處 打ち合わせ去り

大改地才錢判理引 + 作調停費川崎、
蓬田、報酬等算定、旨返事又

成利勝四郎史一、(?) + 8m、32m べ
て心算、室心大原氏、会見、都合或
差支エルカニスルへ返事又

+ = 月

4.(火) 晴

午前十時過玄町

鷹沖丸一 錦糸町、翌日、妻立、墨田区移
入新下丸、先づ同町平岸へ相談又

午後一時所長賀信行会議、幕戸加川久留向大
林、御内事帶

諸種報告、以求今迄疏失、復次總額八万円
+ 8m 計算手引中研究、萬機一名、手引削除手引
「月報三回」一日引包販送、月二回元增加、外地
抵當 調整費、午四時 + 8m 費、個人社補
助費 + 8m 費 + 8m 費、他、大体此等 + 半
残余、旅費 + 8m 費 + 8m 費、數字、確定、
幕戸高也一人、12月 + 8m 費

至急作成、上大原氏 + 会見 2月 今回、高也
一人、8m 費 + 8m 費

カクハ四時者入居 鷹沖丸、相手數字、作成せ
晴正 + 明後日 + 8m 費 + 8m 費

午後三時退行 11月、12月

五更知行仕入八九郎一 社会課中級
設計及設計手引用月2月 + 8m 費 + 8m 費、返事又
新丸一 万動野中行夏計、吸用、11月 + 8m 費
8m 費 + 8m 費、手取、計入 + 8m 費 + 8m 費

+ = 月

4.

(支) 4月付
毛利公司

5.00
2.00

+ = 月

5. (火) 晴

午云 + 吐，吹東幸设计協會，因牛蒡吹前尤須
设计高明，现 + 以年，謹請資料，持
意而行。

金食以吉氣神元二中一斤，文久食、之節
及 + 事放空氣飲二時過极近，接物山下
主正，報光 + 一郎，成績芳吉表，是瓜
之時過故。

ノーリ Oriental Hohl 行 + 二時未熟，
Albert Thomas — 庫下丸一氣應之類三才心加
而更行加 + 本飯 — + 本核好又 活利史
二八口上空ムカヒナホキ事加のク類ム旨記入
レ、玄、至 4.12.7 空即 + 行，歎、玄送人ノル
自即車以西壽乞氣空 + 至 + 木同设计大氣
(本集有七十四卷 + 上山本飯)，志次氣、之帶
9.09 空、過山本車(計方合)、平、附在山
+ 一時半，吹 + 7
ノーリ 同小，謹請，此皆何 + 午云二時半車

Butter

1.50

delica

1.50

+ = 月

6. (木) 晴

午前 8.28 晴の空で 10.06 番迄 1 台、自動車、
公会堂、至り山室宇文丸、以、京、十一時四十分
向、設計、改、事務及、社、謹、便、新、改、入丸
、謹、遠、改、八、午後一時半、可、
小川设计协会会長、相、寺、川、重、井、
立、賀、地、九、午後三時半

午後 3.25 在、御、装、大、改、事、七、午、行、計、一、行、
事、中、大、御、装、九、旅、業、案、以、改、大、手、改、而、
以、旅、業、内、件、商、事、接、手、

午後七時、要、会、司、事、下、十、吉、开、林、信、之、日、
益、空、开、上、物、丸、及、車、空、丁、次、事、以、平、负、先、主、改、
事、部、長、及、議、事、以、上、开、上、史、事、江、軍、議、事、
事、改、社、九、九、大、或、生、改、計、行、
以、以、新、改、十、時、故、会、同、道、電、車、以、改、帶、上、
、十、吉、开、事、件、費、料、計、相、改、門、高、一、改、
新、元、空、氣、相、改、事、改、手、

+ = 月

7. (金) 晴

午、口、在、休、業、
午、以、一、時、幸、改、持、東、事、行、此、の、備、演、礼、
未、以、半、時、向、以、辞、去、
以、半、時、向、四、節、丸、大、電、ア、ス、ユ、ニ、又、万、事、の、
レ、轉、ム、ト、中、送、

(入)	(出)	支、出、金、額、	3.00
車、空、氣、相、改、事、改、手、	50.00	金、額、	1.90

十一月

8. (土) 晴

午前十時迄

鷺洲丸の事久史、牛頭農場にて一連の活動。
午後退所又運レーニルモント
西へ遠心十萬枚数枚現又
午後二時退所午後八時迄
苗床、園田工作二度人手行田上、八十六枚
品種特考
大原作工事一株莢内計七、説明次第以
前半日指先より退心

十二月

9. (日) 曇雨

午前十時復留トス

午後而未だ書類ア整理ス

(土) 豊田及子
2022年12月1日 30.00

(土) Wem 2.50

+ = 月

10.(月) 晴

= 午前十時半迄上級書類精査、復徳室、行キ
十六部又置物+16.11月度内定

(土) カリ
午後、河野

1.00

+ = 月

11. (火) 晴

= 昨日二輪橋河野二丸川明駒行ケル、電報署いれ
及西へ午後ちのスラモウ範囲ノ付待、ニ丸米3-2
11.48-7 仁政元(セ)、降ヘニ丸川行方西一オナレ、
電報署いれル(リ)セ、セ、セ、セ

午後一時半度是氣如川久西向大井、ニ丸
井井寺森戸虎、未付、未アリ送ルト、電送アリ、
大井改ヘテナシタル219報先々

又十二月廿九日送事、五百四十車空>降り
地方中大改立御神戸、分人アリ加、地ノ高
基、元々可ナル旨ト達一ツ集、費、セト十二月
吉自身入、報略ニテ失、收+3-7+5-8-11-12
クマニ等故今

London School of Economics, Freda
Wiley 嘴半計ナカ、行便セエ、状態ニ付
ム方即设计、既定、大井>ヨリ更、妻工
書立ナカ、四時半持去ル

森下丸、ヤマツリ万次郎ト門付支西ガル
モ元川丸、二輪橋河野二丸川、行会同立八百、勘
定、些口來3-8-11) モ元川丸ト交換 最近大井改
ナカ、セニ歎生ナリ先ナ-利根今内(ダニ)ニニ一社ナル
達ヘハシル裏次交換工之時、暨モ元川丸、此功
旅館、既外、河野津局、行ナカル 七時、吸ニル

十二月

11.

久我役場海部支所 事務室へ森戸虎之助工達
以降支拂一ノリ

（輪支川口方）近状の最近、左の如過往一
年、頃起るに内装木造の河堤防護工事
の主旨、敷廣二十メートル、岸成合二十メートル、
支式、向左、ナラ草葺、密清ナル
年ハ雨、コト失敗ナム、勿論、此ニ差シト者、森
戸虎之助、意見、有ハル

（元川東、行方不明ナヤトモハ）
如く起る、走廻ル船主、全ノ無系譜、先地
蓮レ賃向、此レク、草葺、得ル、既作アル事ハビ
ト、（輪支川、右川、全ノ走廻ナム）ナシナル
ナシタル事、行方不明ナリ、賃向アル事
ナリ、皆處中ナリトモヘリテナカナル
カラ、時過、表立ナリ外之丸、寺町ナル、全ノ
森戸虎之助、矢車、走廻、分派御乞セハ、ナ
ニ等、正ニ

十二月

12. (水) 晴

既に左室、執務處理又、本村同様此制、
根本資料、諸々

(支) Butter

1.50

(支) 正
室御行革

2.00

十二月

13. (木) 晴

午前九時半迄

新刊内薄二丸一 宇治西一裏 渡又十番
越→指示又

十一時過東京市役所立候事題題定一丸半分

午未改・午未改・午未改・午未改・午未改

・午未未改・午未未改・午未未改・午未未改

午未一時半過碑玄川 Prof. Grünberg Ledes
午未未改・午未未改・午未未改

電改丸、午未未改・午未未改・午未未改
午未未改・午未未改・午未未改

停電以休一晚中甚

十二月

14. (金) 晴

午後九時半止マニ壁磨トハラゲル
日本

(支那銀行)
Vorwärts 1. 1. 18. 65
1月1日正午時分 18. 65

十二月

15. (土) 曇

大分治ツリハシ山中
午後山荘吉田河上、三丸、川谷次方の山
は雨乞い、スルハシ江(病弱要)ハコトハリ
事情、速々吉川

十二月

16. (日) 晴

大分快ツリハシ尾越高一高ケーブル
ハイカウチタニヤリハシ野村医師(在宅)
ムサシ生リヘビスルサトナリ吸虫病

(支) Wem

2.50

+ 二 月

17. (日) 晴

電稿連絡会議午前記録又

整理及之共計一回

支那の内閣大臣の御朝、飯糸手、アリミ

長2月2日

花子川河内市一ノ井、大原氏の事務所にて
起立中、便り其の種類ハルカ又是の事例、牛、
馬四頭(の内、四頭は大内氏の事例)一ノ井にて
之を告中心通し

大内氏一ノ井、大原氏の事務所にて、又、
子屋方動向、大政奉公委員会議事通達、付太陽
委員会議事通達、付中心通し

行上等大一ノ井、中、西、正次一ノ井セオ

(支) 一部手稿

1.65-

+ 二 月

18. (火) 晴

午前 上段 異なたに付行紙等支給 = 並書、
+時事、既去

森下丸、四月行動命令大政奉公委員会、花旗
往中古、味意、若ケス 2月14日付車行ル
~1月15日、豫想シテ、諸々 + 花旗、起草、出先又
舊中丸、而、既收書、2月15日、宇、即傳旨
行、2月

午後 一時 断滅天氣 大井地区森下丸本部
久留向丸病院足跡

大正元月下上早中、山(付貴中会の八郎軍医
・田波中八郎利明) + 人、脚氣以高工而同日
指立 + + 痘氣今一壁室の太原氏へ送假狀、
其2月12日 又特産口 - 郡北 - 善澤 = コーラー、既
過、報告スルコト、2

森下丸ヨリ福岡、大正元年1月15日生少記録
、而、一時寄宿者24名に蒙る、肺附炎、
既置、既中止、半日報告、矢張り + 花旗一
壁室、其2月12日 ~ 13日、24名

乃テ新壁室時半喫入氣。

2月2日 YMC A、主の司令、既往主
氣、又第、半日嘔吐、原因は大政府由源向
即ち、コトニ飯糸手、御文、紹介、ナハ一

十二月

18.

時向計りたる会員、意次支拂アリ
又其度、正之、金ニシテ四万大土、銀若アリ
十時散会迄セヘ、十時過ト
帰途十時半未一資料、叶・付・往・而・還・セ・ル
二才

十二月

19. (水) 晴 江心時少雪

是日左近「木村家主は此ノ事に不満有申す」欠
之候事、重・篠・南・坂・同・北・湖・又・足・坂・久

(火)

行方不明者四人、
405.05

(火) 行方不明者
408.03

(火) Butter n. Wind.

2.10

十二月

20.(木) 晴

午前 + 晴 云薄

「欽定四庫全書」卷之二十九

午後一時事務局にて、奉入宣達缺勤奉
内蔵監査課、御史考課以降次上立欠席
二字報告以降二等缺勤

奉入事務にて先づ貢書を受取

御史考課二字上立、旨付

在官門にて吏相談の理事監事、選任
書面投票、公務員の昇進、昇給、昇級人事
監査課、東京二院及火災向處、通知及び手札
大林虎之助金川謹山、北野、投票を受取

午後二時半退院 大阪ビル内自由通商協会
役員会に出席、議事、会議、会員本店大内丸、御礼
之手賀、又大阪大朝記者、第一ビル本社及缺
勤者に祝詞、公事三等缺勤回復

入寺、坂本朝記者が晴田一雄東洋方
事務、無事五四年同大内、中央執行委員会
・金地二年旨の年、儀式の間の年、二年
・共同八款追意旨の年、支那、日本、印度
、北洋地圖、北洋、北洋、北洋、北洋、北洋、
又新嘉坡、香港、上海、天津、南京、同僚
校友、同行者、上士官、法政、法政、法政、法政、

十二月

20.
晴

(木) 晴

午前

(木) 晴

晴天

1.60

5.18

+ = 月

21. (水) 晴

午前 大晦記事 現田傳玉郎 来訪 比々太朝
記者へ先へハルト内様、ハレ送付

宣誓投票事の追跡へモ持ナリテ、ハリス

22. パセー、ト・宣(署)一四時退院

太朝、八山作一夫計内所会社、仲介を
お丸来訪 頃、一年、内モハ持ナトハル
事文書處中ハニ旨(モ)

(2) 本へ	10.00	正	70.00
母上へ特			10.00
ゆ) 紙、靴袋、 一部 紙、書冊、 正へ 玄牛、シヤフ、 カズラ下 早便、Plate			20.30
母上へ革鞞			1.50
川瀬先生(大丸) 10.00			

+ = 月

22. (木) 晴

午前十時退院

久留向東川無産支寧(ナムル)一意見+心

多・全加支動的 Rollen Spielern 21-22-23-24-25
希望する事又のため西行及内郵局(ナムル
付事文込)送

キ) ト被青々今戒草原人寺、太倉支訪
而氣又子久史、ツトニ此草穂カニ退院ル、才
望ニシテ是向(アヒテ)、西工内史子久史又駕神
居ト、往乞ヒ源(アヒテ)米道、子久史カ駕神居
マハ退院希望中カア、金ナ高、ハナトス

金四机昇口翌、草史半計既出、先
手アリ何ナ氣に就く事情、注ヘ第ニ久義タ
意吐ハ草達ス

大晦記事半計平夏ナトス

午以四時退院

(2) 本(上計=20)
礼(革ト第=10) 5.00

十一月

23.(日) 晴

午前河上太古部史来訪 200円迄支拂ひ
往々事、大馬鹿の如きを罵り、一等向車=レシ
譯書ル

午後四等通ナ生ニ人以半神ノレナ元ノ
行ニ有馬通ニ、車輪ノウナムニハ等級是

寺ノナ生、ツリヌヌヌ、ツルヤレトナス(山名寺野)
又行者ニ

十一月

24.(日) 雨

午前十時迄

久史に面接、内丸山處にて、立場、意見、考
証、雨、吉、

舊神社、掃田史立替尼、内丸山處調査費、
抵替相殺スルハハ五

午後午時史、佳吉半引一資料代(中百三十円半
ノ所置取川井頭心氣中川高屋口一元、ハセヒチ)
又行者ニ

久留向史に理事以達付可内、内閣ハ行
行者行者ニ

John, Geschichte d.S. + 37

午後二時過近而ノ尾引市、帶免又
大平氏一重ナラ西行日、持之、大又
柿原氏ヘコマサ、蛭過、通志ノ行者、朝
行者、北坂山江若、役帶免、以擅土、

物販	85.00
Wen	2.00
4927.4	1.50
711	8.70

(元)書母代 8.27

十二月

25.(火) 晴

既口左美

夕食事半日の送り手八七面鳥>莫 部門入江
おじケーラーかへーー1977. Wurzelnach > 25.3

(2) Wurzelnachbaum

2.00

十二月

26.(水) 晴

午元十時吉西

十一時半、呪 Albrecht Thomas 五一行本内
室内入室時向北、アラカル

森立木。大原氏ト、文房二件金十ニテヨリ
以上過ルヘキ才吉ナ故内御時一年八月十三日、
諸丸ノ御清貴ノ一太原氏・吉トナリ又ハ他ノ件
ト諸丸林山ナリテナシトナリ、旨ノ便ル 朔月立リ
既至十四日、東京方面、諸丸、御会ノ森下丸
の間左セモ足ノ限キタリナリトナス

河上博士、既トアーテル 落島研会会、其
氏一森下丸レ芝一而三度ニ

午後二時半、呪退計 帰乞

午中央公館ナトモ起ル

柳田梅田内之丸、ヤサカ・大原氏及
柿原氏・中庭ハニシムト通知ス

日本大震立ツリ中央執行委員会一地在
所旨、高井ノ意況ル

(2) 万葉草根寄附

10.00

十二月

27(木) 晴

午前 10.35、汽車で滑川神戸へ向かう途中にて、有馬苑庭園、乗車五十分钟、料金半過有馬、料金 1.50

市中、駐車場、本屋、一等地附近、松坂
の邊り宣食心午後四時、近畿自動車道
の五十分钟、乗車料、料金 1.00、歌麿の表
の後、以降車の運賃を一時、料金

大正瓦川内壁合付並木、包車車

十二月

28(金) 曇

午前十時、阪急庄内駅、大正瓦、手取
の車で近所の商店へ又大正瓦、人材、車両
上車荷物等の運送、心地軒、料金 1.50+
時給 1.50

更に人荷の運送、大正瓦、近車 + 手取瓦
用一束、投雪器、高1.5m、1.50時給 1.50

宣食心午前神戸高島、行 + 四号棧橋、
四号棧橋 + 通船場、料金 1.50、高島駅、
アーバンナット + 通船場、高島、高島港
御堂 + レトロ車、半時料金、1.50時給 1.50、
→ 宣物心の運送

午前九時、越智大人来計、午前八時以降莊
丸大人の付半計、一時、1.50時給 1.50、
半時料金 1.50

(土) 有馬瓦

Butter n. Wash.

Vanish

5.53-

2.50

2.40

(日)

（計）高島、高島瓦計料 50.00

Portugal

2.00

Vanishing Cream

1.00

萬能豆乳

2.20

十一月

29.(土) 曇雨
手帳・便りナラス

午前十一時、喫糸川嘉之史来訪 大原氏、手帳
ノ本又是乃縁外掛一室一間得集ナリテ、玄人一
現事監事ハ此來面ナカニナレ述れ 大原文、
件、ナシトヨシ重ケリ本草ナシルオレカ得集ナリテ
ト、玄人ナリ 十二時退辞玄人

午後二時退神戸へナリ Oriental Hotel =
行ナ A. Home 退日未定、ルート未定、往
約、近々確立ナマニテ、ナビ明早朝未定
「空ナリ」

後利川即ち大原、大原妻是取辞生、
向中庭、明朝晨退

今日其七半因國政の新に退日未定、祝物送
礼、持氣又

(支) Wien	2.50
野村通商一礼 (内革社販)	4.10
吉田代官盤鏡一	3.00
市井生年 7.95	
2.12	9.87
大原文士	3.40

十一月

30.(日) 晴
手帳・便りナラス

午後二時過河野泰成泥桶比郎大原春秀
之丸主行過日、大原竟太氣、松子行方、主見平
地山山一次才ナリ得之、半月五日、玄人停車是
處走、是ナル是ナル御宿向八半ナーハ飯ナリ、
行支所、御候也、役更代、共見ナリナリ、若
堤若狭、行ナリ、半月十二日上空取故東京
ナシ始末、而今ナリ、尚ナリ、就待四時、以
降玄人

大原竟太氣、中央執行委員会主、十二
月上空、上行北陸車、支那事變、山西
山下局中庭、明朝玄人

鷹津史、現事監事重任、朱元山外公
子瓦故東京方面、持印瓦理ナ才、依拠又

(支) 横手玉木	3.55
横手立子	1.50
美吉石灰	1.50
味屋1号史	5.18
元田内山	
紅茶	10.00
散茶(茶葉2.00 下削1.00英)	4.00

十一月

31. (月) 晴雨

午前久留向夫人來訪

午後十一時左右立候 二時半以實物心道故鄉

心音暢 五時半午後四時過河

手稿 週十點半後 五時半十一時過川本

午前八時左右又心音暢 五時半十時

母上船 + 雷ナ一時健康 + リハビリ +

(支) 痘	10.00
口膏	10.00
万葉集 一本	3.30
無印良品	3.00
总计	123.59
母上	10.00
豆乳	3.60

